

2025年度

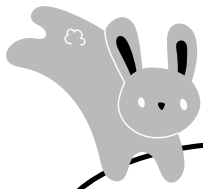
総合職事務系

内定者一同

環境省

内定者の声

内定者統計
試験区分別対策
内定者座談会
etc.



テーマを押すと
気になるページまで
ジャンプできます！

目次

- 1 内定者統計 P3～**
基本情報 / 大学・大学院 / 試験区分
説明会の参加回数 / 併願先…
- 2 内定者プロフィール P10～**
大学 / 学部 / 在住 / 趣味
ガクチカ / 就活の軸 / 志望業界…
- 3 試験対策 P20～**
教養 / 法律 / 経済
政治・国際・人文 / 院卒(行政)
- 4 官庁訪問対策 P32～**
基本情報 / 一日のスケジュール
成功談・失敗談 / 質問集 / 持ち物…
- 5 座談会 P45～**
官庁訪問準備 / 課外活動 / 地方在住者
志望動機の作り方 / ㊟官庁訪問

内定者統計



静岡県 白須賀海岸

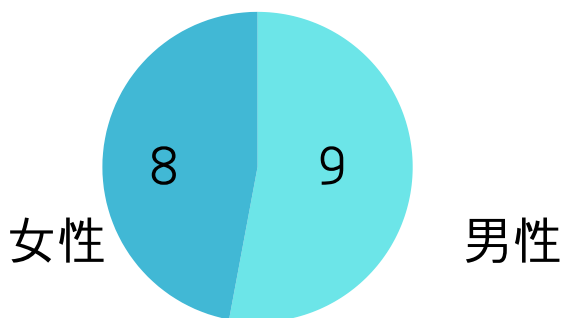


2023年 春

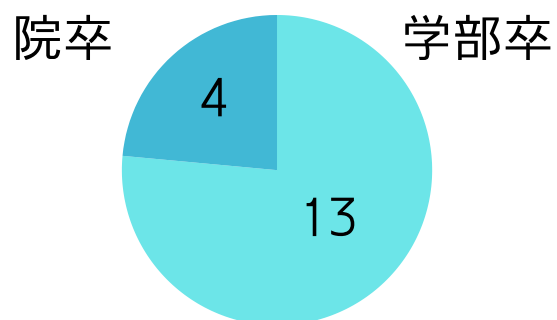
基本情報/大学・大学院/試験区分…

内定者統計

男女比



学位



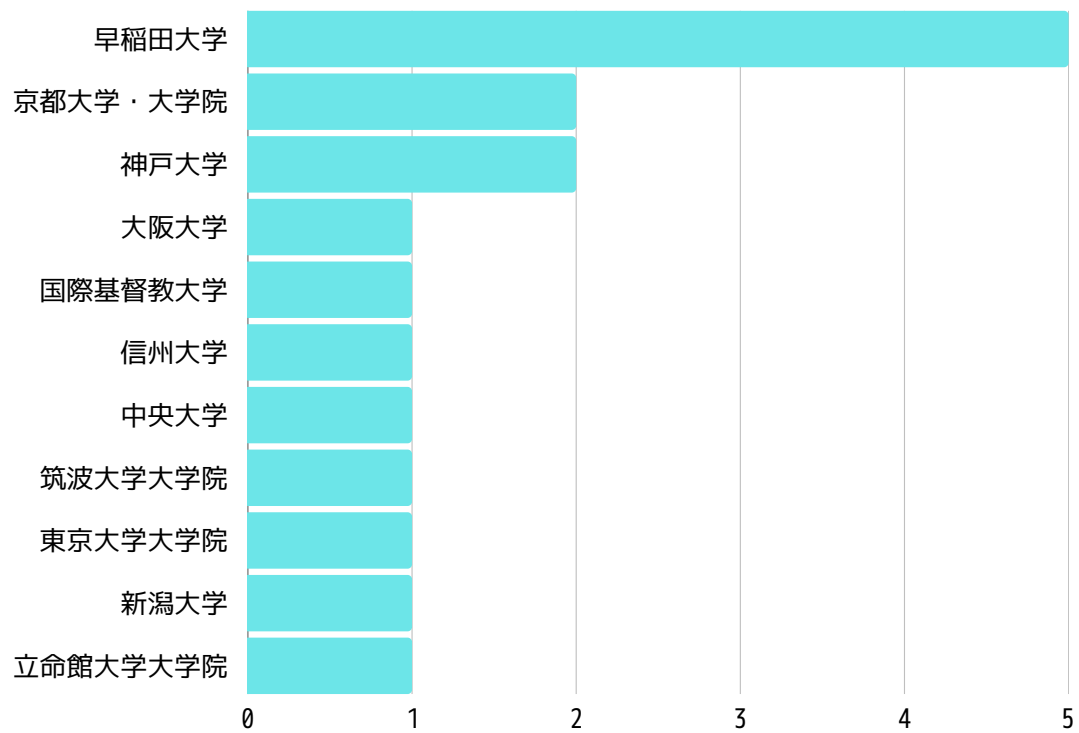
在住地

※官庁訪問時

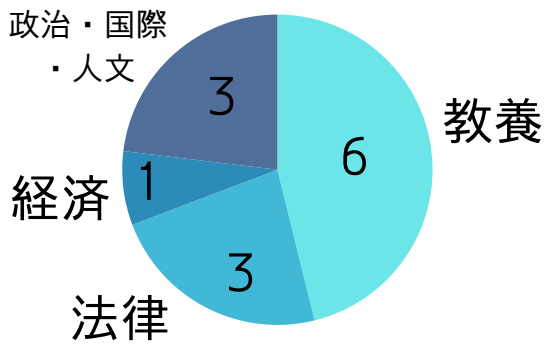


在住地	人数
東京都	5
京都府	3
大阪府	2
神奈川県	2
千葉県	2
長野県	1
新潟県	1
兵庫県	1

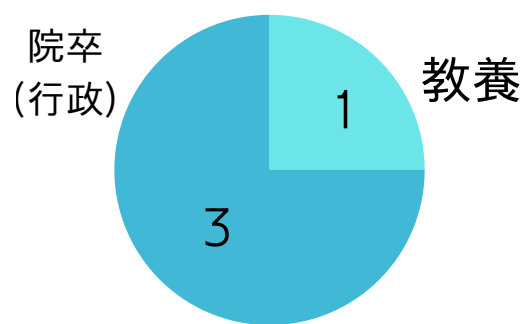
大学・大学院



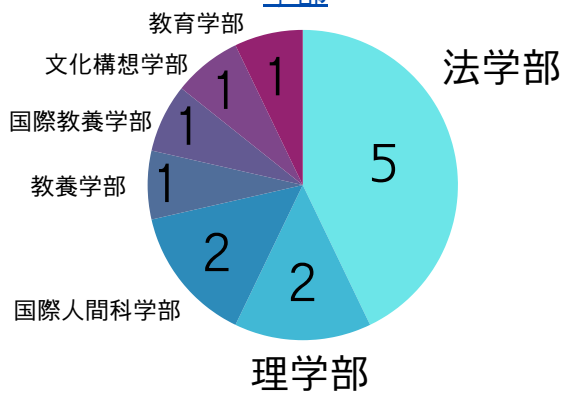
試験区分(学部卒)



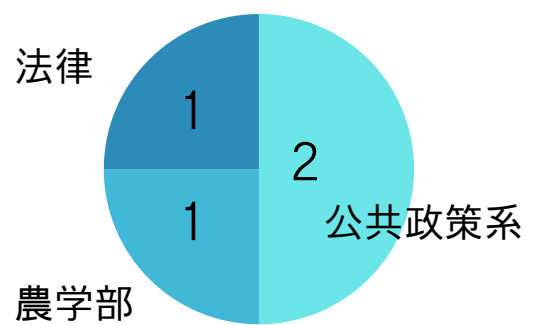
試験区分(院卒)

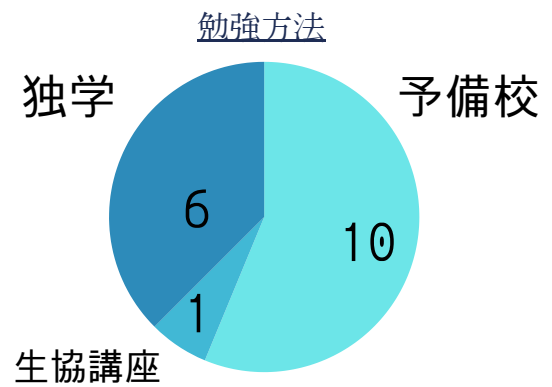
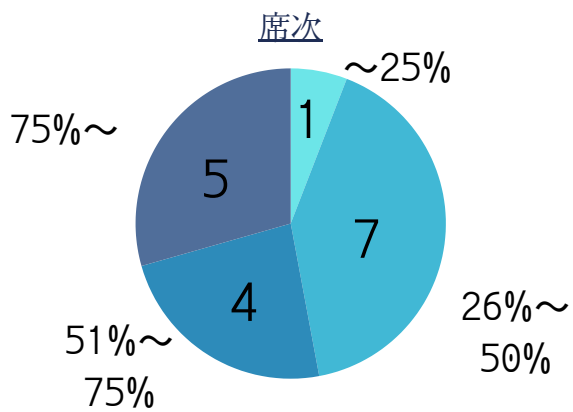
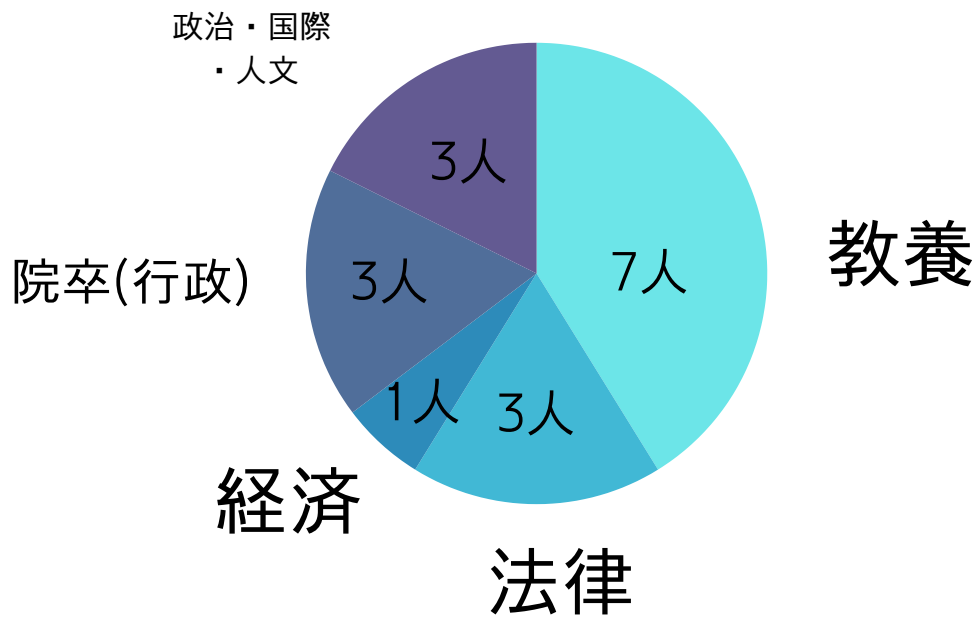


学部

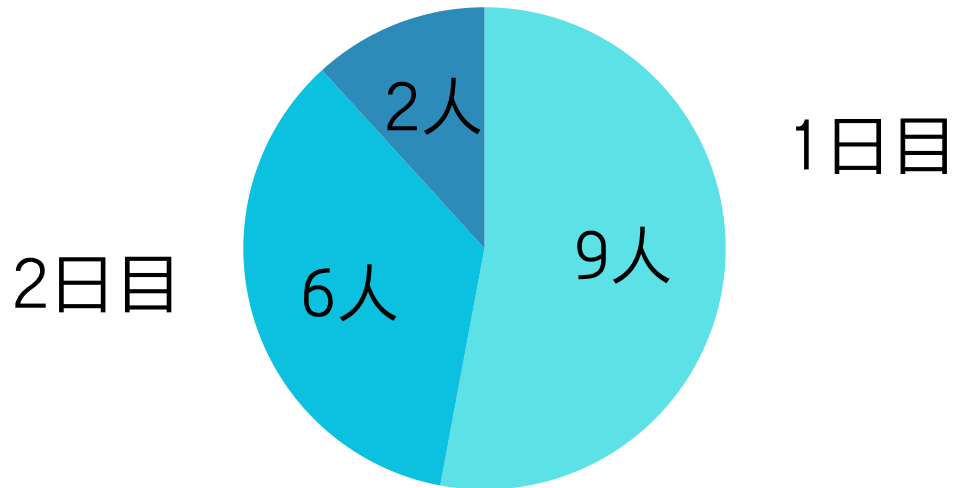


研究科

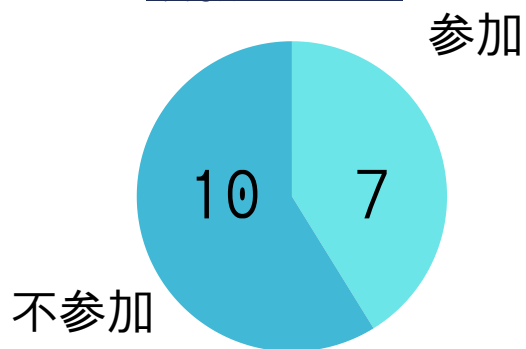




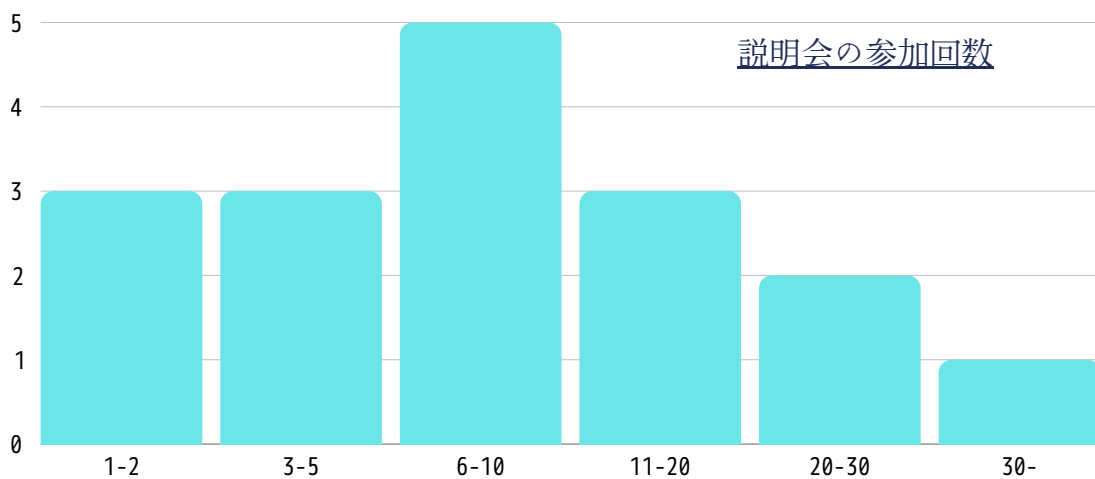
訪問日



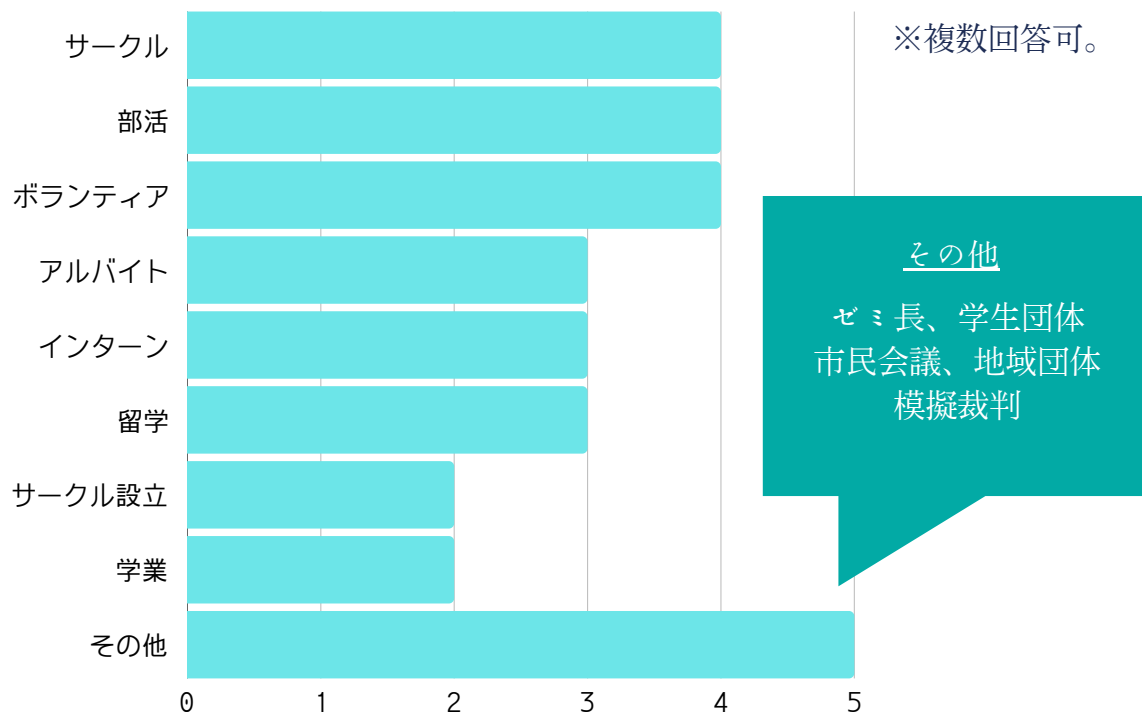
環境省インターン



説明会の参加回数



ガクチカ



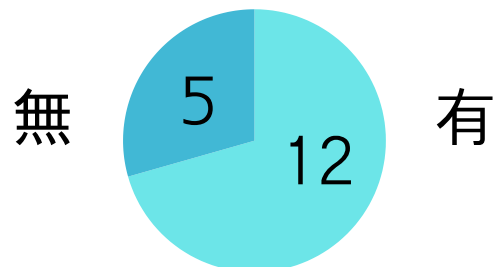
併願した公務員

国家一般職、国税専門官
東京都庁、特別区、地方上級、
国会職員
独立行政法人、大学法人

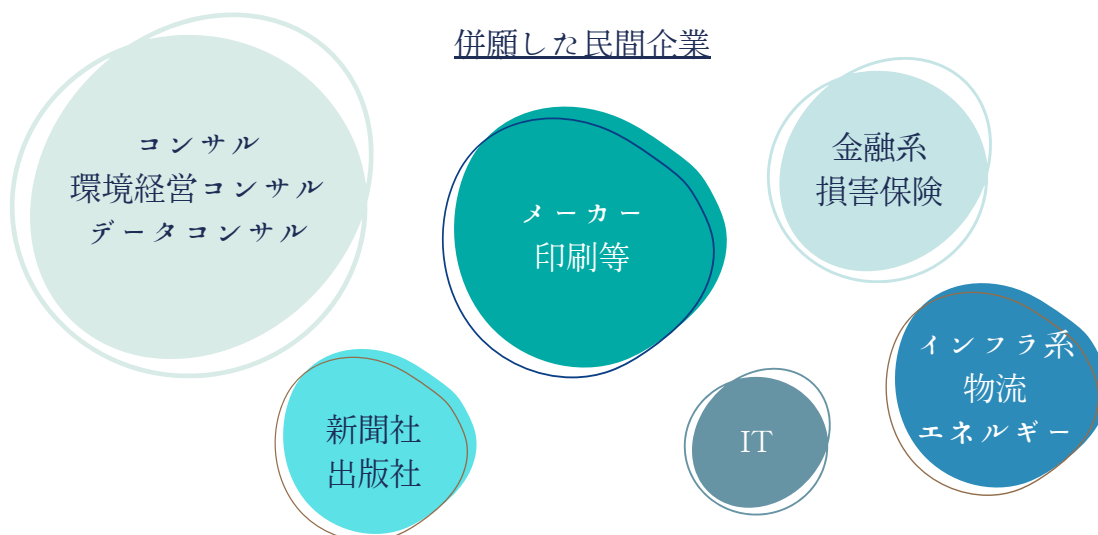
その他

併願なし、院進

民間就活



併願した民間企業



訪問省庁

一日目	環境省	環境省	環境省	環境省	環境省
二日目	経産省	経産省	農水省	農水省	農水省
三日目	農水省	なし	なし	なし	なし

一日目	環境省	環境省	環境省	環境省	総務省 (ICT)
二日目	総務省	国交省	厚労省	国税庁	環境省
三日目	経産省	なし	出入国 管理在庁	なし	なし

一日目	総務省	農水省	内閣府	なし	厚労省
二日目	環境省	環境省	環境省	環境省	環境省
三日目	なし	文科省	なし	農水省	なし

一日目	外務省	外務省
二日目	農水省	内閣府
三日目	環境省	環境省

第二クールから
新しく訪問した省庁
国交省(1名)

内定者
プロフィール

沖縄 瀬長島 ウミカジテラス

2023年 夏



大学 / 学部 / 在住 / 趣味
ガクチカ / 就活の軸…

大阪大学
理学部物理学専攻
在住▶ 大阪府
趣味▶ 物理

経済区分



キツネ

ガクチカ
経験的、知見的
両面からの勉強

興味のある政策
復興
カーボンプライシング

就活の軸
人のつながりを守る！

志望業界
国家公務員

マイブーム
1 **鬼滅の刃**
鬼滅の刃がめちゃくちゃ
話題になってますね
 **冷やし担々麺**
最近私の中で冷やし担々麺ブームが
きています。きっかけは中央合同庁舎5号館の
中華屋さんの冷やし担々麺です
3 **もも** 
ももブームもきています



トド

院卒(行政)区分

立命館法科大学院
法務研究科
在住▶ 京都府
趣味▶ 旅行

おすすめの瀬戸内の島

- 1 豊島
- 2 小豆島
- 3 佐柳島



就活の軸
持続可能性

志望業界
環境

ガクチカ
学業

興味のある政策
GX,ESG

国際基督教大学 教養学部

専攻▶ 国際関係学

在住▶ 東京都

趣味▶ 読書、散歩、音楽鑑賞

区分 政治・国際・人文



ツシマヤマネコ

ガクチカ

各年度で異なるインターン等に
参加し、自分の仕事観を
探ったこと。

就活の軸

「学び続けられる分野」
「社会のために働いているという実感」
「毛並みが似ている職場」

志望業界

官公庁

興味のある政策

環境金融

福島復興

好きな新聞・雑誌
一、対馬新聞
二、法律時報
三、日経ビジネス



シマエナガ

教養区分

神戸大学

国際人間科学部

研究▶ プラスチック汚染問題
における予防原則の適用

在住▶ 大阪府

趣味▶ ピアノ、料理
ホラーゲーム実況の視聴

好きなフルーツ

1

もも



2

ラ・フランス



3

ブルーベリー



就活の軸

環境問題の解決に
携わる仕事

志望業界

公務員、コンサル、IT
エネルギー販売

ガクチカ

設立3年目の環境サークルの
活動振興に尽力しました。

興味のある政策

プラスチック資源循環
廃棄物処理技術の輸出

早稲田大学

法学部

専攻▶ 環境法

在住▶ 東京都

趣味▶ 水泳、射撃、映画鑑賞

法律区分



たぬき

ガクチカ

部活、副専攻

就活の軸

ルールづくり
と運用

メロい♡名探偵

1

浅見光彦

(浅見光彦シリーズ)

2

世良真純

(名探偵コナンシリーズ)

3

榎本津礼次郎

(百鬼夜行シリーズ)

興味のある政策

獣害対策、環境犯罪
消費者行動、海洋

志望業界

公務員



ひつじ

法律区分

中央大学

法学部法律学科

専攻▶ 都市政策

在住▶ 神奈川県

趣味▶ 映画鑑賞、アニメ鑑賞

読書、旅行、サッカー、プラモデル制作

好きな映画

1

STARWARS
ローグ・ワン
(2016)

2

キングスマン
(2015)

3

機動戦士ガンダム
逆襲のシャア
(1988)

就活の軸

社会課題解決のフィールドが
大きいこと(影響の大きさや手段の多様さ)、
興味があること
(エンターテインメントや環境問題)

志望業界

官公庁
大手メーカー(総合電機や印刷系)
エンターテインメント業界

ガクチカ

政策提言イベント運営、ゼミ長
ボランティア活動(海岸清掃)、
アルバイト(個別塾の講師)

興味のある政策

環境経済、地球温暖化、
海洋プラスチックゴミ問題

早稲田大学
国際教養学部
研究▶ 移民アイデンティティ
在住▶ 千葉県
趣味▶ 散歩、おいしいものの巡り

区分
政治・国際・人文



パンダ

ガクチカ

留学

就活の軸

公益性の高さ

志望業界

公務員

好きなシリーズ
もの

- 1 ハリー・ポッター
- 2 相棒
- 3 ポケットモンスター

興味のある政策

温暖化対策・資源循環



クラゲ

教養区分

新潟大学
法学部

専攻▶ 国際宇宙法
在住▶ 新潟県
趣味▶ 旅行、SF

おすすめのSF映画

- 1 インターステラー (2014)
- 2 2001年宇宙の旅 (1968)
- 3 スターウォーズ EP4 (1977)

就活の軸

将来によりよい日本を繋ぐ

志望業界

官公庁、
損害保険、メーカー

ガクチカ

模擬裁判

長期インターン

興味のある政策

国際協力、環境再生

早稲田大学

法学部

専攻▶ 国際法

在住▶ 東京都

趣味▶ 水泳(泳げませんが)

区分 政治・国際・人文



キリン

ガクチカ

留学先での課外活動

就活の軸

気候変動に関わる業務

最近のマイブーム

1 区民プールで
水泳練習

2 Netflixシリーズ
(ウェンズデー)の視聴

3 普段行かないような
お店に入ってみる
(街中のパン屋さんなど)

興味のある政策

気候変動、福島再生

志望業界

公務員、コンサル

京都大学

農学研究科

生物資源経済学専攻

森林経済政策学分野

在住▶ 京都府

趣味▶ ボードゲーム、リコーダー

教養区分



ナマケモノ

最近好きな
ボードゲーム

1 アグリコラ

2 アーク・ノヴァ
新たなる方舟

3 Age of Renaissance

就活の軸

大学で学んだ内容が活かせるか
奉仕的な活動ができるか

志望業界

公務員
データサイエンティスト

ガクチカ

サークル・アルバイト
(留学)

興味のある政策

Payment for ecosystem・
排出量取引制度、
環境価値の経済評価

国際基督教大学法学メジャー→
筑波大学大学院
国際公共政策学位プログラム
専攻▶ 国際法
在住▶ 東京都
趣味▶ アイドル鑑賞、大人の塗り絵

院卒(行政)区分



ひよこ

ガクチカ
学生団体(日英翻訳)
箏曲部

就活の軸
法律に関われること

好きなミステリー小説

1 宮部みゆき
『蒲生邸事件』

2 東野圭吾
『マスカレード・ホテル』

3 道尾秀介
『向日葵の咲かない夏』

興味のある政策
人獣共通感染症
環境保健

志望業界
公務員



アンテロープ

院卒(行政)区分

東京大学大学院
公共政策学教育部
在住▶ 神奈川県

趣味▶ 旅行、音楽鑑賞、ドラム

今年楽しかったこと
BEST 3

1 オカバンゴデルタ上空を
セスナ機で飛行

2 ボツワナの国道で
ゾウとキリンを発見

3 Summer Sonic
Tokyo 2025

就活の軸
社会をより良く
変えられる仕事

志望業界
国家公務員

ガクチカ
体育会
サークル立ち上げ

興味のある政策
地域脱炭素
地球温暖化対策

神戸大学

国際人間科学部

専攻▶ 脱炭素政策

在住▶ 兵庫県

趣味▶ 野球、野球観戦、ドライブ、旅行

教養区分



カピバラ

ガクチカ

体育会軟式野球部でのサポートによって、チームに貢献した。

就活の軸

社会貢献性の高さ
より良い未来の実現への貢献

興味のある政策

脱炭素政策、福島復興

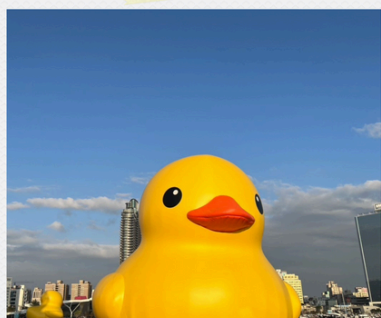
志望業界

公務員、電力、ガス、
物流、メーカー

おすすめ日本旅行先



教養区分



マッコウクジラ

早稲田大学

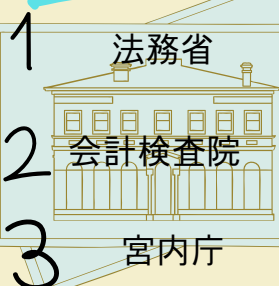
教育学部

専攻▶ 地理学

在住▶ 東京都

趣味▶ ウィンタースポーツ、野球観戦

庁舎がいい感じの省庁



就活の軸

社会貢献性

ガクチカ

アルバイト

志望業界

公務員

興味のある政策

福島復興、廃棄物

京都大学

法学部

専攻▶ 環境法

在住▶ 京都府

趣味▶ 野球観戦、ウォーキング

法律
区分



アカハライモリ

ガクチカ

ボランティア活動(間伐による森林保護・川の清掃や外来種駆除などの環境保全活動)

就活の軸

ボランティア活動等を通じて、人々の心や思い出を彩る日本の豊かな自然環境を守り、将来世代へ繋いでいきたいと思いました。そのため、企業価値に囚われず、将来世代や自然環境といった声なき者の声に真摯に耳を傾け、長期的かつ中立公正な立場で社会全体の持続的発展に貢献したいと考えていました。

志望業界
国家公務員

散歩で聞く
好きな曲

- 1 アカシア +
BUMP OF CHICKEN
- 2 インフェルノ +
Mrs.Green Apple
- 3 スパークル +
RADWIMPS

興味のある政策

地域循環共生圏・脱炭素・
ネイチャーポジティブ等



しばいぬ

教養
区分

早稲田大学

文化構想学部

専攻▶ 社会学、サステナビリティ

在住▶ 千葉県

趣味▶ 身体を動かすこと
(テニス、ハイキング)

オススメの旅行先

- 1 ドイツ
GERMANY
- 2 オーストラリア
AUSTRALIA
- 3 スイス
SWITZERLAND

就活の軸

自然環境と人の命を守ること、
未来志向、
現場を大切にすること。

志望業界
公務員、独立行政法人、
インフラ系

ガクチカ

地元スポーツ組織の
役員を務めたこと。

興味のある政策

自然環境、資源循環、
福島復興

信州大学
理学部
理学科・物質循環学コース
在住▶ 長野県
趣味▶ 音楽を聴くこと、博物館巡り

教養区分



メンダコ

ガクチカ

一般社団法人でのプログラム参加、
長期インターン／サークル設立、運営
気候市民会議など市の環境行政へ携わること

就活の軸

叶えたい将来に繋がること

興味のある政策

環境教育

志望業界

環境行政
エネルギー系

好きな生き物

- 1 メンダコ 
- 2 レッサーパンダ 
- 3 犬 



佐賀県
杉ノ原展望台
2024年夏

試験対策



京都府 丹波 篠山



2025年 初夏

教養 / 法律 / 経済
政治・国際・人文 / 院卒(行政)

試験区分

教養区分

- ・一次試験は、
教養科目Ⅰ部(文章理解、数的処理)30題
教養科目Ⅱ部(数学、化学、物理、日本史、世界史、倫理、時事etc.)40題
が出題される。
- ・二次試験は、
企画提案試験(プレゼンテーション)、
政策課題討議(グループディスカッション)、人事院面接。
- ・高校で習うような、幅広い科目の知識を活かせる。
- ・大学2年生(19歳)からの受験が可能であり、官庁訪問の準備に時間を確保しやすい。また、民間就活も並行して行いやすい。

2026年4月から
春の教養区分
試験が開始!

2025年4月入学の▶
現役生が、大学4年生の
6月に官庁訪問する場合



教養区分以外

- ・大卒程度試験の総合職事務系では、法律区分、経済区分、政治・国際・人文区分がある。
 - ・一次試験は、教養科目(文章理解、数的処理、時事)30題と、それぞれの専門科目から40題出題。
 - ・二次試験は政策論文と専門科目の記述、人事院面接。
 - ・院卒者試験の総合職事務系では、院卒(行政)区分がある。
 - ・一次試験の教養科目は大卒程度と同様の形式、専門科目は系統選択制。
 - ・二次試験は、政策課題討議と専門科目の記述、人事院面接。
 - ・大学で学ぶ、専門的な知識を活かせる。
 - (もちろんイチからの勉強も可能!)
 - ・専門科目は国家公務員一般職などの試験科目と重なっているものもあり、公務員試験の併願がしやすい。
- 2026年から春にも上記教養区分の受験が可能になります!
教養区分か、こちらのそれ以外の区分が選択可能です。



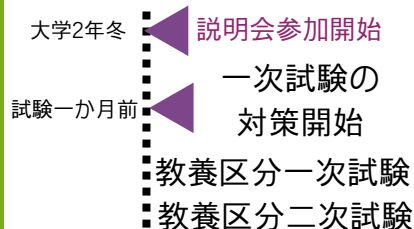
◀ 2025年4月入学の
現役生が、大学4年生の
6月に官庁訪問する場合

※詳細は人事院のホームページをご確認ください。

内定者は
こんな対策を
していました！

教養区分

(学習形態)独学



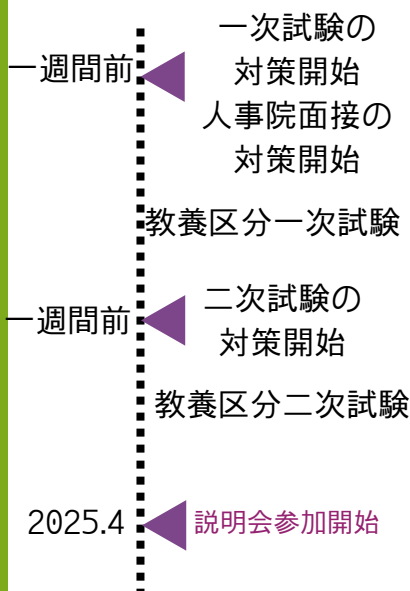
対策 一次

高校時代の復習

対策 二次

(企画提案対策、政策課題討議対策)
特になし
(人事院面接対策)
特になし

(学習形態)独学



対策 一次

大学図書館で過去問を借りて解いていました。
めっちゃ難しかったです。

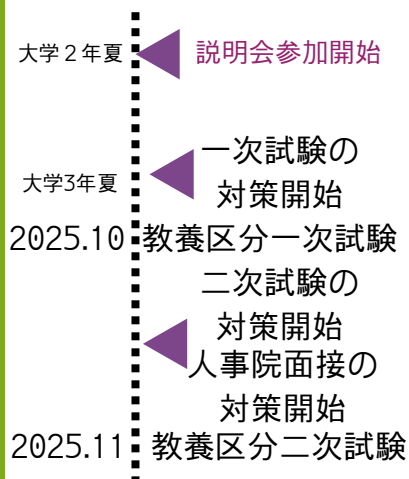
対策 二次

(企画提案対策試験)
生協の公務員講座を受けている
友達に対策を聞いていました。

(政策課題討議接対策)インターネットで公務員予備校が公開しているページを調べ、どのような試験内容なのかを確認して、課題解決のために必要な視点とコツを見ていました。

(人事院面接対策)面接カード提出前には、記入したカードを農水省にいる同期に見てもらい、フィードバックをいただいていた。また、面接前のお昼休憩に見直して何を聞いていただけるかについて考えていました。

(学習形態)独学



対策 一次

参考書を解く (スー過去)

対策 二次

(企画提案対策)
指定された白書から出題テーマを予想 (3つほど)、
文献からリサーチして政策案を作る、

テーマに関係する人に話を聞く (僕の場合は労働局)、
友人にプレゼンを聞いてFBをもらう

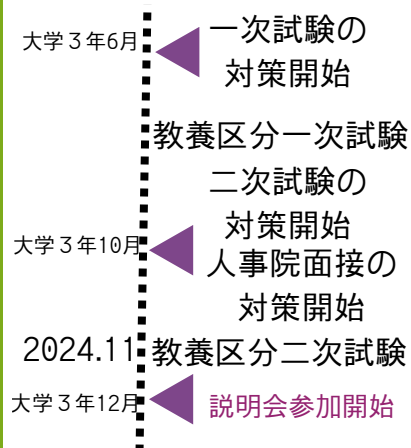
(人事院面接対策)

友人や試験対策団体で模擬面接をする (5回ほど)

(政策課題討議対策)

民間就活をする、ゼミなどでたくさん議論をする

(学習形態)生協講座



対策 一次

公務員講座の一次試験対策

対策 二次

(企画提案対策試験)

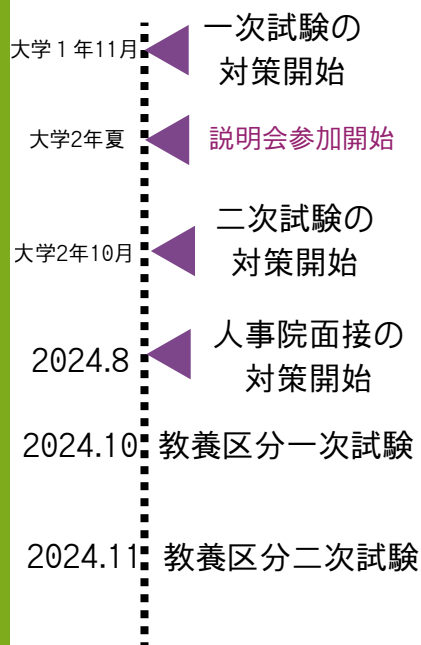
練習を繰り返してロジカルシンキングと話題収束させる癖をつける、最近ホットな世界の課題を調べる

(政策課題討議接対策) 今何が起きているのかをニュースなどで知り、それに対して自分の意見を持つようにする(可能な家族や友達と話す)

(人事院面接対策)

これまでの経験と学びの言語化、公務員講座の方と練習

(学習形態)予備校



対策 一次

数的処理の場合、ひたすら過去問集を解き、苦手な分野に絞って2~3週する。論文試験の場合、いろいろな政策分野について、現状と課題を整理し、政策の方向性を予め決めておいて、当日なるべく早く、かつ妥当な内容で答案を書けるようにした。

対策 二次

(企画提案対策試験)

・提示された資料の読み込み(現状、課題、解決の方向性、現在行われている政策内容を確認する)

- ・政策案を2~3パターン考える
 - ・予備校の模擬面接で質問してもらい、内容の改善に努める(政策課題討議接対策)
 - ・予備校の模擬練習の活用 ・京僚会の模擬練習の活用
 - ・(省庁研究も兼ねて)政策立案体験イベントの参加
- (人事院面接対策)
- ・面接カードの作成 ・予備校による添削

(学習形態)予備校



対策 一次

予備校のテキスト

(自然科学、社会科学、憲法、数的処理)

対策 二次

(企画提案対策)

予備校の予想テーマを元に、案を練り上げ、4、5個の施策を軽く考える。

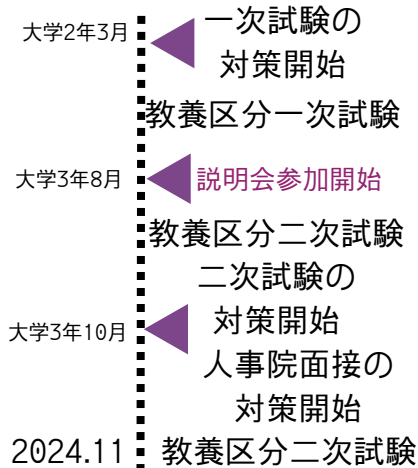
(人事院面接対策)

面接カードの添削、予備校の模擬面接

(政策課題討議対策)

民間就活でGDの選考があるインターンを申し込んで、慣れる

(学習形態)予備校



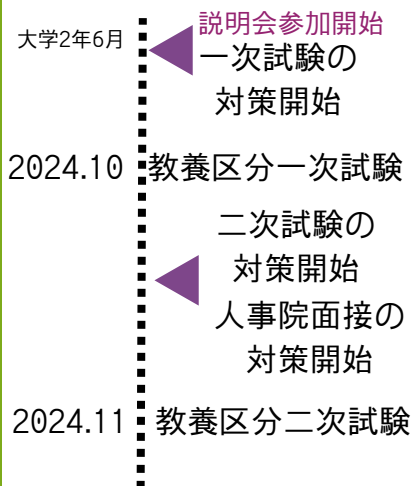
対策 一次

教養試験向け勉強、法律と経済を少し

対策 二次

(企画提案対策試験)説明会に参加して、知人を作った。3人程度の知人と一緒に、Zoomで何度か対策会をした。問題を想定して政策をいくつか考え、紙にまとめたものをもとに、知人からフィードバックを受けた。
(政策課題討議接対策)
学校のイベント、市販の対策本を読む
(人事院面接対策)
予備校の面接対策、知人との情報共有

(学習形態)予備校



対策 一次

教科の一問一答暗記と、問題演習

対策 二次

(企画提案試験対策)予備校や大学での企画提案試験練習に加えて、一個上の先輩にプレゼン練習をしたり、省庁主催の添削イベント?に参加していた。
(政策課題討議接対策)
予備校の授業
(人事院面接対策)
大学のキャリアセンター、予備校の模擬面接。別の予備校の模擬面接。

内定者は
こんな対策を
していました！

法律区分

(学習形態)予備校

- 大学2年冬 ◀ 説明会参加開始
- 大学3年冬 ◀ 一次試験の対策開始
- 大学4年3月 ◀ 法律区分一次試験
- ◀ 二次試験の対策開始
- ◀ 法律区分二次試験(記述)
- 試験3日前 ◀ 人事院面接の対策開始
- ◀ 法律区分二次試験(面接)

塾のオンライン講座をひたすら視聴

対策 一次

対策 二次

(記述試験)

塾のオンライン講座で記述の仕方を学んだ。
(人事院面接対策)作成した面接カードをもとに、想定問答を作成

(学習形態)予備校

- 大学2年6月 ◀ 一次試験の対策開始
- ◀ 説明会参加開始
- 大学3年10月 ◀ 人事院面接の対策開始
- 2025.1 ◀ 二次試験の対策開始
- 2025.3 ◀ 法律区分一次試験
- 2025.4 ◀ 法律区分二次試験

数的処理をひたすら演習(大学3年の春まで)法律系科目の一問一答暗記と、問題演習(できない問題がなくなるまで繰り返す)

対策 一次

対策 二次

(記述対策)アガルトの論証集を買って暗記
また論点ごとに使われる判例を暗記し、
答案練習を3日に1回行っていた。

(人事院面接対策)大学のキャリアセンター、
予備校の模擬面接。別の予備校の模擬面接。

(学習形態)予備校

- 大学2年夏 ◀ 説明会参加開始
- 大学3年夏 ◀ 一次試験の対策開始
- 2025.1 ◀ 二次試験の対策開始
- 2025.3 ◀ 法律区分一次試験
- ◀ 人事院面接の対策開始
- 2025.4 ◀ 法律区分二次試験

過去問のミスした部分を7周くらいした。
法律区分の相談会でおすすめていただいた一問一答を解いた。

対策 一次

対策 二次

(記述対策)予備校の添削課題に取り組んだ。
過去問や他の公務員試験の答案構成を行った。
(人事院面接対策)キャリアセンターや予備校の模擬面接を受け、本番では喋るスピードに気を付けた。

内定者は
こんな対策を
していました！

経済区分

(学習形態)予備校

大学3年5月

一次試験の
対策開始

ひたすら過去問

対策 一次

2025.3

経済区分一次試験

記述試験の
対策開始

説明会参加開始

経済区分二次試験(記述)

対策 二次

(記述対策)試験作成者の買った本を
読みながら過去問

面接3日前

人事院面接の
対策開始

(人事院面接対策)

友人や家族と模擬面接

経済区分二次試験(面接)

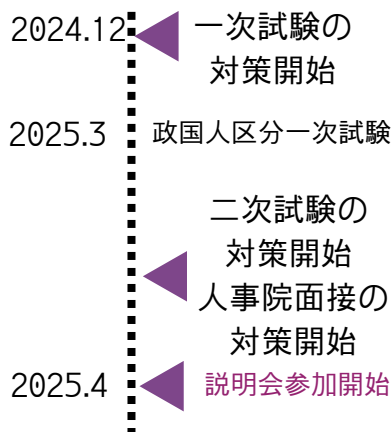
スイス
Grindelwald
2023年夏



内定者は
こんな対策を
していました！

政治・国際・人文区分

(学習形態)独学



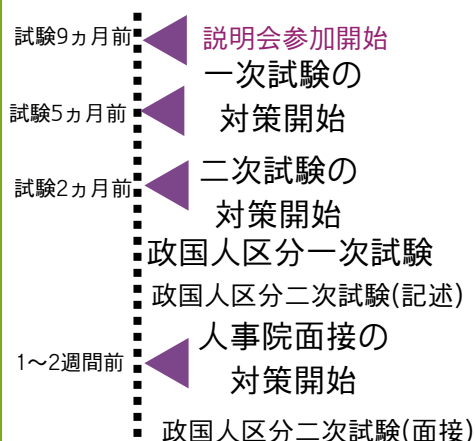
参考書(スーパー過去問シリーズ)

対策 一次

対策 二次

(記述試験)
参考書(スー過去・政治学・国際関係の本・
公務員記述対策)
(人事院面接対策)
大学キャリアセンターで面接カード添削

(学習形態)予備校



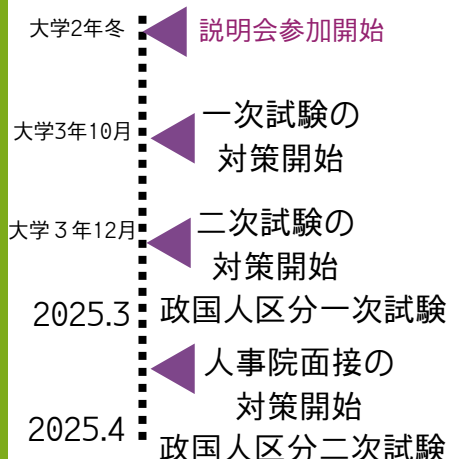
過去問を解くこと

対策 一次

対策 二次

(記述対策)
口で説明すること
(人事院面接対策)
面接官の立場になって質問を想定すること

(学習形態)予備校



予備校の授業を受講し、テキストを読んだことです。また、過去問の演習を重点的にやりました。

対策 一次

対策 二次

(記述対策)過去問を参考に、時間内に答案作成にあたって必要な要素を抜き出して書く練習をしました。
(人事院面接対策)友人と面接練習をしました。また、予備校の先生に、練習や面接カードの添削をしてもらいました。

内定者は
こんな対策を
していました！

院卒(行政)区分

(学習形態)独学

大学4年 説明会参加開始
試験一週間前 一次試験の対策開始
2025.3 院卒区分一次試験
二次試験の対策開始
数日前 院卒区分二次試験(記述)
人事院面接の対策開始
院卒区分二次試験

対策 一次

過去問をとりて、よく出る数的処理の典型問題の解き方を勉強しました。専門科目は、参考書を1周ずつ読みました。

対策 二次

(記述対策)専門の記述試験に向けて、国際政治の入門書を2周ほど読みました。

(政策課題討議対策)政策テーマ別の勉強会や授業のディスカッションに、政策課題討議を意識して参加しました。前日にレジュメの書き方は大まかに決めて臨みましたが、あまり対策はしませんでした。
(人事院面接対策)面接カードに書いたことに関する質問を予想して、答えを考えました。官庁訪問対策はしていましたが、人事院面接に向けてはあまり対策しませんでした。

(学習形態)独学

2024秋 説明会参加開始
二週間前 一次試験の対策開始
院卒区分一次試験
人事院面接の対策開始
一週間前 二次試験の対策開始
院卒区分二次試験

対策 一次

過去問を解く

対策 二次

(記述対策)民法と商法の記述を選択したため、民法は『公務員試験専門記述式民法・行政法答案完成ゼミ』の民法部分の論点を押さえ、商法は『Law Practice商法』の答案を作成しました。ただ、民法は上記教材ではカバーしきれないと思います。
(政策課題討議対策)特にしていません。
(人事院面接対策)公務員試験の雑誌等を参考にしながら面接カードを作成しました。面接自体の対策は特にしていません。

(学習形態)予備校

2024.6 一次試験の対策開始
2024.12 説明会参加開始
2025.3 院卒区分一次試験
人事院面接の対策開始
院卒区分二次試験

対策 一次

各科目の予備校の授業を聞く

対策 二次

(記述対策)
2次試験の対策はしていません

(政策課題討議対策)
特に対策していませんが、1度予備校で模擬練習をしました。
(人事院面接対策)予備校の模擬面接を受ける

受験者へのメッセージ

経済区分

専門試験はパターン化して勉強を進めていくのがいいと思います！
(内定者・経済区分)

二次の論述試験では、ただ専門知識を知っているだけでは記述できません。例えば、憲法なら、同じ平等権でも、経済的自由の制約と表現の自由での名誉棄損では全く書き方が異なります。問題ごとに書き方を覚え、持っている知識を用いて応用できるようにしてください。

(内定者・法律区分)

私は教養の二次試験で落ちたので、そこから数ヶ月で法律区分を仕上げる必要があり、かなりメンタルも「また、試験勉強か、」と落ち込みましたが、諦めないという気持ちのもとで無心で試験に臨みました。元々法律区分で受ける予定だったため、少し早くから法律科目に触れられていたからこそ、3ヶ月でなんとかかなったかなと思います。なので、教養区分は倍率二次は低そうに見えますが対策しても落ちることはあるのでバックアップはしておくことが大事かなと思います。そして、落ちると自分を否定してしまうかもしれませんが、案外二つの試験をやり切ったという何物にも変え難い人生経験もできたかなと思うので、物事を否定的に捉えるだけでなく、何がダメだったかは分析をした後に切り替えて「自分にとって良い経験」と捉えて前を向くことがメタルスライムを倒すよりも成長につながると思います。応援してます！

(内定者・法律区分)

法律区分

結果が出るまで不安な時間が続きますが、チャンスを逃がさないように準備するのがいいと思います！(内定者・法律区分)

過去問を解くこととご自身の得意・不得意を把握した試験対策を立てることが重要だと思います。大変だとは思いますが、頑張ってください。(内定者・院卒行政区分)

住民票記載事項証明書の取得などといった、2次試験に必要な資料の準備を早めに行うと良いと思います。
(内定者・院卒行政区分)

院卒(行政)区分

1次試験直前まで留学していたこともあり、私はほとんど試験対策らしい勉強をすることができませんでした。しかし、自分の得点源を見極めて試験区分・科目を選択したことで合格することができています。特に大学院生の皆さんは研究等で忙しく、余裕をもって試験に挑める方は少ないと思いますが、院卒区分はそこまで倍率も高くないですし、昔取った杵柄で対応できることも多いです。十分な勉強時間が取れなくても焦らず最後まで走りぬいてください！

(内定者・院卒行政区分)

座学だけでなく、食事、運動、睡眠、周囲への気配りもぜひ忘れないようにしてください！
(内定者・政国人区分)

日常の中で、ロジカルシンキングや言語化、意見を持つことなど癖をつけておくと楽になります！
(内定者・教養区分)

わかりにくい、専門試験の選択式の問題ですが、試験の出題の傾向や、問われやすい部分は過去問を解くことで見えてきます。特徴的な引っかけ傾向や、出やすい部分が多くみられると感ずります。とにかく解きながら、問題に慣れ、復習を通して解き方や知識を染み込ませることが重要だと思います。
(内定者・政国人区分)

政治・国際 人文区分

一次試験後から始めるとあたふたしますので、二次試験の勉強も二次試験対策と並行して計画的にやることをオススメします(己のメンタルのためにも)。
(内定者・政国人区分)

教養区分はしっかりポイントを押さえて対策をすれば十分合格可能な試験なので、ぜひチャレンジしてみてください！また、内定までの道のりは非常に長く思えますが、振り返ってみればあっという間だったので今を大切に頑張ってください！(内定者・教養区分)

教養試験は1次試験が鬼門なので、範囲を絞って、その分野で確実に点が取れるようにしておくと思えます！他活動との両立は大変かと思いますが、頑張ってください！
(内定者・教養区分)

とにかく解答用紙を埋めることが大事だと思います、健闘を祈ります。
(内定者・教養区分)

目標と現状とのギャップに苦しくなることもあるかもしれませんが、毎日毎日の小さな積み重ねが目標に近づける唯一の方法です。淡々と、でもモチベーションを持って頑張り続けてください！！
(内定者・教養区分)

教養区分

これだけ対策した、と言えるほどの努力があれば、自信を持って挑めば必ず！
(内定者・教養区分)

教養区分の数的処理はありえないくらい難しいです！時間も足りないので、「得意分野でない場合は躊躇なく鉛筆を転がすぞ！」という心構えをしておくといと思います！(内定者・教養区分)

SEKI—
RARA

内定者の ぶっちゃけ

vol.1

統計学！数学！化学！
理系科目はやるべきでした。
あと、もっといろいろな
言語を学んでみたかったな
と思う今日このごろです。

英語の勉強

ニュースや新聞 をもっと見る

もっとメリハリをつけて
日々をすごす！その日なに
をするかをメモして、その
通り行う。頭で考えすぎな
い！ もっといろんなこと
に手を出してみる。

自分のコンフォート
ゾーンから飛び出し
て、色々な経験をす
ること

もっと遊んで おく

就活については特にはないで
す。私は大学時代は部活動に
励んでいたのですが、1年生
の頃はコロナでほとんど部活
がなかったため、もっと部活
できてたらなーと思います。

進路決定や、サークル活動で問
題が生じた時の意思決定過程な
ど、なんでも良いので自分の思
考過程を記しておく、後から
役に立つと思います。

今大学一年生に 戻れるなら やりたいことは？

たくさん旅行したり、自分
のやりたいことを十分楽し
んだりする(ニュージーラン
ドに1人旅した時に見た自
然に感動した経験が、入省
の決め手の1つでもある)

我が人生に一片 の悔いなし

現時点では、大学生活に後悔なし！

留学など大学 生でしかでき ない経験

祖父母に会い に行く

いろいろな人に
話を聞く、勉強
をする

もっといろんなところ
に旅行に行っておきた
かったなと思います。

お金をたくさん貯めて
海外旅行

私の場合コロナ禍と完全
に被っているため、家に
いることになると思いま
す。。。その意味で
は、大学一年生に全く後
悔がないため、やってお
きたいことは「ない」。

官庁訪問



静岡県 伊豆 天城高原

2020年 暮



基本情報/一日スケジュール/成功談・失敗談…

面接の種類

入口面接

その日一番始めに行われる面接です。
秘書課の方が行ってくださいます。
第一クールでは志望動機など秘書課面接に近いことも聞かれ、第二クール以降では前回の官庁訪問で学んだことも聞かれます。
また、興味がある政策分野についても聞かれ、その分野の方を原課で当ててくださることも！
しっかりと自分や興味関心をアピールするのが吉です！

秘書課面接

=人事面接です。
採用を担当される秘書課職員の方と面接します。

秘書課の方が行ってくださいます。
志望動機や学生時代に力を入れたことなどについて深く聞かれます。
自分が入省したら取り組みたい政策についても聞かれるので、説明会で知識を蓄えたり、原課面接のお話から考えたりできればスムーズに話せます。

原課面接

実際に環境省で働いている職員の方にお話をうかがいます。
意見を聞かれたり、ディスカッションをしたりする場合もあります。
お話を聞きながら質問を考えましょう。
貴重な機会なので、適度な緊張感を保ちつつ、楽しくお話を聞いて、受け答えできたら最高です。

出口面接

その日一番最後に行われる面接です。
秘書課の職員の方が行ってくださいます。
一日の印象に残った職員の方のお話を聞かれます。
フィードバックをいただく大事な面接です。

官庁訪問の一日スケジュール例

時間	お会いする 職員の方	目安
9:00	集合	
9:30 ～ 9:45	秘書課	10～20分
10:00 ～ 11:00	自然環境局	1時間～1時間半
11:00 ～ 12:30	お昼休憩	40～1時間半
12:30 ～ 13:10	秘書課	20～40分
13:45 ～ 14:30	地方環境事務所 (オンライン)	1時間～1時間半
16:30 ～ 17:30	水・大気環境局	1時間～1時間半
19:30 ～ 20:00	秘書課	10分

入口面接

原課面接

秘書課面接

原課面接

原課面接

出口面接

官庁訪問でうまくいったこと

準備していったことや知識を活かした!

- 第1クールから第2クールまでの間に、聞いた内容を復習してたり、調べたりして、その上で特に伺いたい事をよく考えたところ、より興味深く勉強になる事をお伺いすることができたと思います。たくさんの行政官のお話を聞くことができ、待ち時間に、緊張はしたもののたくさんの方とお話できて、思ったより楽しかったです。
- いろいろな授業をとっていたことで、知識のアウトプットがうまくできました。自分自身も知識として持っていたことについて、実際にお伺い出来て楽しかったです。
- どの面接でも準備したことを全て出し切れた。
- 原課面接で、官庁訪問で学んだ知識を活かした質問ができたこと。
- 環境サークルの活動で、小学生に食品ロス削減に取り組む必要性を伝えられたこと
- 自分の想いを伝えられた。官庁訪問を通じて自分が成長したことだけでなく、自分に足りなかったことを言語化できたこと。
- 予備校の自主ゼミに参加したことで友人ができました。当日、控室内に顔見知りがあったことは大きな安心材料でした。
- 準備していったことが、発揮できた。

楽しめた!

- 素の自分で楽しんでお話ができました!
- 自然体で臨んで、終始楽しむことができた。
- 原課面接の中で楽しく討議することができたこと

ありのままの自分で臨めた

- 官庁訪問を通して学び、それを面接の中でしっかりとアウトプットできたこと。自分のありのままの姿で、素直に応答をしたこと。
- 職員さんとの等身大での正直な対話

自己分析できた

- 自分の考え・思いを照らし合わせられたこと
- 空き日に面接でお聞きした話をまとめ、自己分析に用いる。

緊張しすぎなかった

- 必要以上に周りのことを気にしないことで、緊張せず(当社比)に面接に臨めました。
- 民間就活で面接慣れしておいたおかげで、適度な緊張で挑むことが出来た。

官庁訪問でうまくいかなかったこと

準備不足だった!

- 官庁訪問が始まる前に、自分の性格までしっかりと洗い出せていなかった。
- ガクチカ(特にチームでの協働)において、想定問答の用意不足など色々と準備不足であったと感じた。
- 本で読んで考えた程度のことは取るに足らないと、面接を受けるまで実感できていなかった。

うまく説明できなかった!

- 自身の印象が上手く伝わらなかったこと。
- 自分の考えていることを端的に説明できなかった。
- 面接1回で終了してしまった省庁もあり、短時間で言いたいことやアピールをしきれなかったこと。
- 論理が飛躍しそうになることがあった。
- 若干自分が喋りすぎた感があった。
- (他省庁ですが第1クール1日目) 原課面接で訪問者の質問時間を長めにとっていた際、初回で右も左も分からずどんちゃんかんな質問をしてしまった。
- 純粹にパッとその時疑問に思った質問させてもらったら、話が薄くなってしまったこと。

緊張・動揺してしまった!

- 他省庁の秘書課面接で緊張しすぎて頭が真っ白になったこと。
- 年次が高い方にお会いするときはめちゃくちゃ緊張して喋りすぎてしまいました・・・冷静になるべきでした。
- (環境省ではないが、)圧が強い面接に弱気になってしまったこと。
- 控え室でナイーブになりすぎてしまって、周りの訪問者にめちゃくちゃ慰めてもらいました、。

その他!!

- 特に思いつかないですが…面接部屋への移動時にエレベーターがなかなか捕まらず、5階分くらい階段を昇って息を切らして入室したら面接官の方に驚かれました(笑)
- 他省庁ですが、待合室にすごくお洒落なネクタイを身に着けた訪問者方がいらっしやったので「そのネクタイかわいいですねー」などとお話ししていたら、待合室で待機されている若手職員の方でした。この一年で一番恥ずかしかったです。待合室に若手職員の方がいらっしやって、訪問の待ち時間にお話ししてくださることがあります。

どんな質問をされた？

面接全体の感想

- 提出した訪問者カードに沿って、人となりに関して聞かれたことが多かったと思います。
- 入口面接・秘書課面接では、面接カードに書かれていることを深掘りされました。あまりどんな質問をされたかは覚えておりませんが、突飛な質問は無かったかと思います。原課面接では、あまり私自身の質問はされませんでした。面接担当の方の業務について・業務についての思いなどについてひたすら質問ばかりしていた気がします。めっちゃ面白かったです。環境省に決めた理由の一つは、原課訪問が楽しすぎたからです。
- 環境省では秘書課面接で特にパーソナリティをよくみられていた印象があります。原課面接では本当に興味本位の質問をこちらからずっとぶつけていました。
- 主に、志望動機や人柄を象徴するようなエピソードから環境省にあった人材かを判断するような質問が多かった。

具体的な質問内容

1. 志望動機・省庁選びについて

- なぜ環境省・国家公務員なのか
 - 志望動機、志望動機を改めて自分の言葉で教えてください
 - なぜ国家公務員なのか、なぜ国家公務員に拘るのか
 - なぜ～省なのか(なぜ環境省なのか)
 - 環境省以外の省庁を選んだ理由
 - 物理系のバックグラウンドなのになぜ経済区分で受験したの？

2. 人柄・価値観・強みについて

- 個人の価値観と人間性
 - あなたにとって国家公務員とは。
 - これまで話したことに共通する価値観は何か
 - ワクワクすることは何か
 - そういった人と働いていきたいか
 - 視点が「自分」ではなく、「他人」に向いていることが多いのはなぜか
- 強みと自己分析
 - 強みと強みの活かし方

3. 学生時代の経験(ガクチカ)の深掘り

- 大学で力を入れたこと
- ガクチカの深掘り(なぜやろうと思ったのか、何を学んだのか)
- ガクチカから学んだことや今活きていること

どんな質問をされた？ 続き

4. 将来のビジョン・キャリアパスについて

- 入省後の展望
- ～省で何したい。
- 特に関心のある分野は何か
- 興味のある分野で具体的にどういうことを入省後やりたいか
- 将来像
- 10年後どんな国家公務員になっていたいか
- どんな社会人・国家公務員になりたいの？
- 将来、あなたといえばどんな人になっていたいですか。
- 学生時代の活動や、入省後の自分の将来像

5. 具体的な政策課題や状況への対応力

- 対立や困難な状況への対応
- 「チームで成果を出すために大切だと思うこと」の欄に「相手に寄り添って丁寧に対話し、信頼関係を構築すること」と記入したことについて、「たとえば環境省が取り組んでいるクマ対策では駆除に反対する方々と意見がぶつかることもあるが、そういった場合にはどのように信頼関係を構築できるだろうか」という趣旨の質問
- 消費者や企業に環境問題に取り組んでもらうためにどう説得しますか？
- アメリカ大統領などの動きを例として、環境に関心がない人々にこういった政策が必要か？
- 関心の薄い業務にもしっかりと向き合えるか？
- 政策立案・課題解決
- その課題に対してこういった手段を用いることができるか。
- 知床の太陽光パネルの設置を君ならどう考え、解決するか
- 国を発展させるためには強みだけでなく、守りも必要だと思うが、守りとして必要なことはなんだと思うか。

6. 官庁訪問の経験そのものについて

- 官庁訪問どうですか？
- どこ回った？ どんな評価もらった？
- 官庁訪問で印象に残った話は何か
- 環境省に対する印象が官庁訪問を通してどう変わったか
- 官庁訪問を通して得たものは何か
- (去年も訪問した人に対して) 去年との違いは何か

中日は何して過ごした？

友人や家族と過ごしてリフレッシュ

- 友達と飲みに行った。
- 友人や家族と会っておいしいご飯を食べ、とにかく思ったこと感じたことを吐露。
- 一緒に来ていた友達とおいしいご飯を食べる。
- 東京にあまり来ないので、普段会えない友達と会ってご飯食べていました！
- 中日に家族の誕生日会があったので、息抜きに参加しました。
- これまでの反省と改善、友達とカフェでまったり。

観光や趣味で気分転換

- 美味しいものを食べつつ、近場の観光地に行って羽をのばしていました。
- 第2クール以降は観光で休養。
- ひたすら寝て、東京観光。
- 和菓子屋めぐりと餃子めぐり
- 東京散策

次の選考に向けた準備・自己分析

- 友人と集まって、一緒に面接練習をしました。
- 第1クールの後は自己分析。
- 聞いた内容をまとめたり、疑問に思った事を調べたり、聞きたいことを書き出したり、伝えたい事を改めて考えたりした。家だと緊張で集中できなかったため、カフェで作業しました(笑)。
- これまでの反省と改善
- 早口言葉とRAPで舌の滑りをよくした。

自宅での休息や普段通りの生活

- 家で普通に過ごしていた。(ディズニープラスで映画見ていた)
- 実家でのんびり。
- アルバイト、部屋の片付け
- 普段通りアルバイト。

官庁訪問で意識したこと

ありのままの自分で臨む

- 背伸びせずに、ありのままの自分を評価してもらうこと
- ありのままにいること
- 自分の素を出すこと
- 自然体でいること
- 全ての回答が自分の軸、価値観とマッチするように答えること

積極的な姿勢と成長意欲を見せる

- 頭をフル回転させて自分史上最速のインプットとアウトプットを意識しました。
- 官庁訪問での変化も見られていると考えたので、前での面接でお聞きしたお話を次の面接でどう反映できるかを意識していた。
- 諦めずに最後まで最善を尽くすこと
- 常に「自分はここで何をしたいのか、何が実現できるのか」を考えるようにしました。
- 去年との違いを見せること
- 何がダメだったかの分析

一緒に働きたいと思ってもらえる立ち居振る舞い

- 笑顔、誠実性
- 笑顔で接するなど、一緒に仕事をしたいと思ってもらえるよう意識した
- 笑顔は絶やさないこと
- 他の訪問者と積極的に関わること
- 身の程を弁えること

伝え方とコミュニケーション

- 自信ありげに堂々と話すこと!ハキハキと、早口にならないように。
- 難しい質問がきても、戸惑った顔をしない。
- 問いにまっすぐ、全力で答えること。
- 言いたいことや聞きたいことを伝え切ること

心身のコンディション管理

- 疲れた時は控室でちゃんと休憩して寝ること。

官庁訪問の持ち物

面接のために

- 白書
- 説明会の資料
(配布資料、
説明会の内容をまとめたノート)
- ESのコピー
- 名刺入れ
- 内定者パンフレット
- 入省案内

メモ

- 筆記用具
- ノート、メモ帳
- ルーズリーフとバインダー



原課面接で名刺をいただく
こともあります



短時間で、手を汚さずに
糖分補給できます



昼食は庁舎のコンビニで購入できます
待合室で会った訪問者同士で、庁舎の食堂等
にご飯に行くことになる場合もあります！

個包装のお菓子は
待合室でのシェアにも最適です！



体調を崩すこともあるので、
常備薬があると安心できます！



メモしたり、調べたり、
大学の課題をこなしたり…



一日話すので、喉をいたわるための
のど飴やトローチがあるとGOOD!

食べ物など

- 飲み物
- お菓子
- 軽食
- ゼリー飲料

その他

- パソコン
- iPad
- 頭痛薬
- トローチ
- 本

官庁訪問を迎える方々へのアドバイス！

採用担当の方がおっしゃっていたように、官庁訪問は結局はマッチング、というのを終わってからとても実感しました。たとえば訪問省庁から期待する評価や返事がいただけなかったとしても、それは訪問者となる皆様の性格や人格を否定するものではない、ということを、どうか心に留めておいてくださいね～!!

たくさんの方々にお会いし、さまざまなお話を伺える貴重な機会になると思います。官庁訪問を通じて、自分自身と対話できる機会にもなると思うので、色々な感情を持ちさまざまなことを考えるとは思いますが、有意義な経験につながるはずです。頑張ってください。

絶対に楽しんだ方がいいです。面接でたくさんの職員さんから貴重なお話を聞けるだけでなく、他の訪問者との会話の中で、新たな視点や考えに気づくこともあって、そういう意味でもとても貴重な経験になると思います。

官庁訪問の途中は、ご飯を食べる時やお菓子を食べる瞬間など、短時間でも構わないから、息抜きの時間を決めて、しっかりと頭を休めたことがよかったです。

緊張よりワクワクを持っていくと自然体で過ごせるのでオススメです!実際とても学びになる楽しい時間です。

糖分補給できるもの必須です!ゼリードリンクなど手を汚さず片手で糖分補給できるものがおすすめです!

あくまでもマッチングの場なので、当たって砕けるぐらいの意識で望んでください!

自分からアドバイスできることはありませんが、とにかく応援しています。

訪問中の体調管理にも気を付けてください!!健康第一!

何を言えるかより、何を言わないかを意識してもらいたいです!

各省とのマッチング!

情報が少なく不安に思うこともたくさんあると思いますが、官庁訪問ではできる限りの準備をして自信を持った状態で臨むことが1番重要です。そこで働くかではなく、国家公務員として、自分が何をしたいのかをよく考えて訪問先を探してみてください。

官庁訪問は私は半分実力、半分運の要素もあると思います。それまでの試験は絶対的に評価される要素が多いですが、官庁訪問は民間就活同様に“ほぼ相対評価”だと思っています。官庁によっても面接の仕方が異なっていたり、理不尽な仕打ちもあります。(体験しました)しかし、環境省は最後まで私に向き合ってくれる官庁でした。私は志望度が高い環境省から内々定をいただくことができましたが、官庁訪問で内々定をいただくことができない可能性やあまり志望度が高くない官庁に内々定をいただく可能性もあると思います。ですが、それをご自身に“合致した”道なのだと思います。私は試験でも自分の思い通りにならず、官庁訪問でもかなり厳しい仕打ちを受けました。その時は悔しさや絶望感もありましたが、いざ点と点を後から振り返って繋ぐと、「それで良かった」のだと思えるような経験や結果であったと思っています。なので、後ろは振り向きすぎず、時に思い通りに行かなくても、立ち止まっても良いですから、前を向くことを忘れないでください。官庁訪問の結果が人生の全てではないと思います。(努力した分悔しいと思いますが)きっと“あなたの為の道”をご自身で見つけられると思います。

聞きたいことをしっかりと明確にして官庁訪問に臨むことは大切だと思います。おそらく説明会でも言ってくださると思うのですが、官庁訪問はあくまでも志望者と職員さん間のマッチングです。必要以上に緊張しすぎず(舌の口が言っどんねん)、秘書課面接では志望動機・今まで行ってきたこと、自分の考えや聞きたいことを本音で伝え、原課面接では本当にこの省でいいのかどうかをしっかりと判断するために動くことが大事だと思います。職員さんと1時間も1on1で話せる機会は絶対になので、わからないことは全部聞いて、ここで働きたいぞお!という気持ちをしっかりと確認していきましょう。特にどんな思いでこの仕事をしているのかなどについては職員さんの本音が聞けてとてもありがたかったです!

訪問者カードに記入したことについては、自分がどのような考えの下にとった行動なのか・その経験を経て今はどう考えているか・それは入省後にどのように活かせるか という点に関してはしっかり準備しておいた方がいいです。準備していても予想外の質問が飛んでくることがありますが、「ここまでやってきたんだから大丈夫だ!」という自信があれば突破できないものではありません。ガクチカが弱いかも…という方へ、私はスポーツ経験がなく、箏を10年続けたという1点で官庁訪問に挑みました。派手なものでなくても、誰もが何かしらの強みを持っています。自分に自信を持って、頑張ってください。

面接では、変に着飾らずに、素でお話することが大事だと思います。素でお話していると、本当に自身がやりたいことと環境省でできることが真にマッチングしているか、官庁訪問の際に色々と助言をいただけたと思います。志望度が高いならば、秘書課の方に事前に顔を覚えてもらっている方が初対面よりは話しやすいので、説明会の参加回数は少なくとも、毎月の人事との少人数相談会には一度参加してみるのをおすすめです。

説明会や座談会にもっと参加して、環境省の政策に対する理解をより深めたり、省の雰囲気や事前に知っていたら、官庁訪問でより良い議論ができたのではないかと思います。ただ、いくら準備していたり、優秀でも、上手くマッチングしないこともあるなど、周りを見てても感じたので、あまり気負いすぎずに挑めば良いと思いました。応援しています!

SEKI-
RARA

内定者の ぶっちゃけ

vol.2

自分に足りなかった
ことを分析し、
改善策を示したこと。

自分がどのような人間なのか、ちゃんと
自分の言葉で伝えられたこと。
こういう考えの下にこういう行動を
とった→結果、こういうことを学んで、
その経験から今はこう考えている
という流れを説明できるように、
訪問者カードに書いたことに関しては
事前に準備していきました。

緊張せず、対話ベースで
自分の素を等身大に表現
できたこと。

熱意。

前の原課面接でお聞きしたことをもと
に、秘書課面接でのご質問に回答してお
り、学び意欲を見せることができた。

対話力…？

答えのない問題に対して
も、自分なりに考え答え
よう意識したこと

回答の一貫性、人の役に立ち
たいという思い、自分が思う
環境省だからこそできること
に共感してもらえた

ズバリ！ 評価されたと思う ポイントは？

志望度の高さ

本当に有難いことに、「こ
いつとなら働いてもいいか
な？」と思っていただけた
のかもしれません。お互い
のマッチングがきちんと行
えたのだと思います。

ガクチ力や考えに
一貫性を持って
いたこと…？

社会をより良く変えていきたい
という思いと、そこに向けての今ま
での行動についてや、職員の方の
お話を理解して自分の言葉で伝
え、その上でコメントできた時は
評価していただけたのかなと思
いました。

緊張せず、対話ベースで
自分の素を等身大に表現
できたこと。

これまでの学びと考え
方の言語化

でも、正直よくわかりません…

最初から最後まで素で
面接に臨めたこと

熱意

チーム戦向き
の忍耐力

素直に聞かれたことに答えること。落ち着
き。官庁訪問をする中で自分の思考に磨き
をかけていくこと。その磨きをきちんと面
接の場で伝えること(見せること)。

内定者
座談会

神奈川県 鎌倉市 長谷寺



2020年 夏

官庁訪問準備 / 課外活動 / 地方在住者
志望動機の作り方 / ㊞官庁訪問



クラゲ
東京住み。
環境省の説明会は
2回ほど参加。



トド
京都住み。
インターン参加。
説明会は
5回ほど参加。



アカハライモリ
京都住み。
説明会は
30回ほど、ほぼ毎回参加。



たぬき
東京住み。
説明会は
10回ほど参加。

官庁訪問準備

説明会の参加

について

※アカハライモリ
はイモリ表記

イモリ…皆さんは説明会にどのくらいの回数、参加されていますか？

トド…私は、環境省の説明会に五回ほど参加しました。一、二回ではなく複数回参加しようと思ったのは、以前インターンに参加していた経験が大きいからです。インターンで拝見した職員の方々の人柄に加え、説明会でまた別の方の人柄や担当業務について知ること、省全体への理解が深まったと感じています。同じ環境省の中でも、業務分野やジャンルごとに雰囲気や重視する点が異なると感じる部分と、一方で環境省で働く皆さんが共通して抱いている理念を認識できた点が、私にとって大きな収穫でした。一度に限定せず、何度も参加して良かったと思います。

イモリ…私は説明会に30回以上参加し、職員訪問も三回ほど経験しました。対面のワークシoppにも二回参加したと思います。自身の「自然環境を将来に繋げたい」という思いに対し、環境省で実際にできること、成し遂げられることは何か、その

両者にずれがないかを確認したいという目的がありました。また、トドさんのお話にもあった職員の方々の雰囲気、つまり自分と価値観が合うかどうかという点も見ていました。尊敬できる先輩方と働けるか、という視点です。

トド…ええ、分かります。どういった思いで働かれているのか、といった点ですね。

イモリ…その通りです。自分のやりたいことがこの組織で実現できるのか、という視点で職員の方々の雰囲気を感じ取ろうとしていました。

トド…なるほど。

イモリ…もちろん民間にも熱意のある方は多いと思いますが、国家公務員は「自分が何を社会で実現したいか、どういった社会を将来へ残したいか」という問いに正面から向き合う方が特に多いと感じました。その中でも、環境省にはひとときわ熱い思いを持った方が多いという印象です。

クラゲ…私は様々な省庁を見ていたのですが、大学入学当初は民間企業を志望していました。しかし大学二年生の時に経済産業省のインターンに参加し、国家公務員の仕事、安定や単調といったイメージとは真逆で、高いスキルをもって国のために戦うダイナミックなものであると知り、大変魅力を感じました。

オンライン？

対面？

それから経済産業省を目指していましたが、公務員試験に合格し、どの省庁へ行こうかと考える段階で、改めて自分に合う場所はどこか考え直しました。自分が本当にやりたいことを突き詰めた結果、内閣府が自分に合っていると感じたので、その説明会に参加し始めました。結果的に、その二つの省庁にはそれぞれ十回以上、説明会に参加したと思います。

たぬき…そうなのですね！**クラゲ**さんは他省庁の準備も入念にされていたと思いますが、環境省を志望する際に、その経験が活かされたことはありましたか？

クラゲ…はい。特定の省庁に特化した対策というより、自分が持つ思いや考えを、どの省庁に対して同じように伝えていました。個別の政策への希望を述べるのではなく、「こういう社会を実現するためにこのツールが必要で、それが実行できるのはこの組織だ」という考え方をどの省庁でも基本にしていたので、むしろ省庁選びにおいてもフラットに各省庁を見ることができていたのかなって思います。

クラゲ…私は説明会に、オンラインではなく現地に参加することを意識していました。地方在住の方には難しいかもしれませんが、自分自身で質問を練り上げる上で集中でき、良かったと思います。また、説明会後の交流時間も非常に重要だと感じました。

トド…説明会後に、個別に質問などをされていたのですか？

クラゲ…毎回ではありませんが、職員の方に質問するよりも、隣席の参加者と情報交換をすることもありました。

イモリ…ええ、それも対面の利点の一つですよ。オンラインではどうしても時間通りに終了してしまうので。

トド…対面参加で参加者同士の繋がりはできますか？

たぬき…多少はありますね。隣に座った面白い方の話が聞けて嬉しくなることもあります。また、非常に熱心な参加者、例えば勉強量が膨大であったり、熱意の伝わる説明会の参加者を見たりする方を見て、刺激を受けました。対面説明会のメリットは、そうした熱量を肌で感じられる点です。メモの量や話を聞く姿勢は、オンラインでは分かりにくい部分だと思っています。ノートのまとめ方

一つにも「すごいな」と感じながら参加していました。対面ならではの刺激は間違いなく得られます。

イモリ…私は関西在住なので、他省庁も含め、四回ほど東京での一日ワークショップに日帰りで参加するという、少し変わったお金の使い方をしていました（笑）。皆さんと違い、連絡先の交換などはしていませんでしたが、対面の利点は、職員さんに顔を覚えてもらえることだと思います。

トド…皆さんが非常に論理的に説明会へ参加されていることに驚きました。私は、説明会を人と会う機会と捉え、直感的に感じ取れる部分を大切にしていたので意外でした。

クラゲ…直感という点では、確かに説明会だけでは分からない部分も多いですよ。職員の方の雰囲気や、省庁のカルチャーなど。

トド…そうしたカルチャーは、官庁訪問で初めて感じられたのでしょうか？

クラゲ…その通りです。官庁訪問では実際に執務室のフロアに入りますから。中には、いわゆる「お役所」といった雰囲気の堅い省庁もありました。よく言われることですが、霞が関の中でも環境省はベンチャー企業のような雰囲気があると感じていました。オフィスの内装もそうです。

イモリ…分かります。「古き良き伝統」を感じる省庁もありますよね。

クラゲ…環境省にはフリーアドレスのワーキングスペースがあり、以前働いていたベンチャー企業と似た雰囲気

だったので、働く環境がイメージしやすかったという点があります。

イモリ…私も官庁訪問でバーカウナーのような席で職員の方に原課面接をやってもらいました。職員の方々が休憩中にそこでお菓子を手に取っている様子を見て、官庁にこのような場所があることに驚きました。温かい雰囲気だったことを覚えています。

たぬき…環境省にそんな場所もあるんですね！官庁訪問は三省庁程度に限られますが、説明会であれば対面で開催するところも多いので、環境省に限らず、色々な省庁を見てみる良い機会ですよ。

説明会で意識していたことは？

トド…その他に、説明会参加時に意識していたことはありますか？

クラゲ…私は、説明会で必ず一度は質問することを心がけていました。質問をしようと思うと、必然的に話を真剣に聞くことになります。その上で、説明された政策分野の魅力という広い視点と、その分野で働く方々の共通点という深い視点で捉えるようにしていました。

イモリ…対面・オンラインを問わず、「そんな視点があったのか」とハッとさせられる質問に何度も出会いました。そうした質問をされる方からは大いに刺激を受け、参考にな

りました。その点では、オンラインでも多くの刺激を受けられたと感じます。

たぬき…オンラインは質問内容がテキストで残るため、見やすい利点もありますね。質問が上手な方の、文章で分かりやすく伝える書き方も勉強になりました。

トド…私は純粋な興味から説明会に参加していたので、もう少し官庁訪問を意識した視点を持てていれば、また違った見方ができたかもしれません。

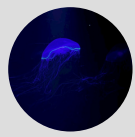
クラゲ…質問をすることは、政策の勉強と官庁訪問対策の両方になるので本当におすすです。回数を重ねるうちに、自分の質問の質が上がっていくのを実感できるはず！

質問のコツ！



アカハライモリ

クラゲさんは毎回質問していたと言っていたけれど、何かコツとかはありましたか？



クラゲ

僕は、政策を考える上での哲学とか、意識してやってるのかとか、こういう利害が対立したときはどっちを優先するのかのような、それぞれの職員の考え方がみたいなのを聞いていました。ファクトの質問は調べれば出てくることが多いので、実際に働いている職員の方の考え方について理解が深まる質問がオススメです！

情報収集と

コミュニティ

トド…私は地方在住で対面参加の機会が限られていたので、皆さんがどのように情報収集やコミュニティを活用していたか伺いたいです。対面で会った方と面接練習などもしましたか？

たぬき…いいえ、全く(笑)。説明会でひつじさんと名刺交換はしましたが、専門試験前で余裕がなく、連絡は取りませんでした。当時は余裕なく考えられませんでした。本来は同期になるかもしれない人達と出会える貴重な機会ですよ。対策としては、予備校の環境省志望者コミュニティに所属し、オンラインで勉強会や面接練習をしていました。ひよこさんやキリンさんともそこでお会いしました。

クラゲ…私はDONOという東大の公務員対策コミュニティに所属していました。友人の紹介で入会しましたが、教養区分試験の後ほどの大学の学生でも参加できるよう。実際に省庁で働く方に見ていただきながら、グループディスカッションの練習をする機会もありました。様々な省庁の志望者が集まるため知見が広がり、コミュニティへの参加は非常に重要だったと思います。自分の現在地を知るとい意味でも有益で、教養区分の二次試験や、官庁訪問で

のグループディスカッション対策に活用できました。

たぬき…確かに、公務員専願者はグループディスカッションの対策が手薄になりがちなので、ありがたい機会ですよ。

イモリ…私は志望動機のブラッシュアップに、京僚会という団体の環境省志望者向けオープンチャットを活用しました。省庁ごとにグループが分かれており、ノート機能を使ってお互いの志望動機を読み、コメント合っていました。

ひつじさんや**シマエナガさん**もいらした気がします。模擬面接は、大学院にいる今年の志望者の人で集まり、面接カードの共有や質疑応答などを行っていました。

クラゲ…また、教養区分の対策は×で見つけたイベントに参加していました。コミュニティへの参加は重要ですが、もし参加できなくても、SNSなどで個別のオンライン対策イベントを探すことは可能だと思います。

たぬき…その活用は思いつきませんでした。自分の大学には対策講座がないと思っていましたが、探せばあったのかもしれない。自主的に行動することが大切です。

国家公務員のインターンシップ

トド…皆さんは国家公務員のインターンシップに参加されましたか？イモリ…いいえ、私は参加していません。

たぬき…大学二年生の時に環境省のインターンに応募しましたが、残念ながら不合格でした。狭き門というイメージがあります。

トド…私は人事院が主催する大学院生向けのインターンに参加しました。

イモリ…大学院生向けの、そのようなプログラムがあるので、そのようなプロプログラムがあるんですね！

トド…政策立案の体験や、環境省内の会議、外部の方との会議にも参加させていただきました。職場を深く体験できる貴重な機会であり、インターンへの参加は非常に有意義だったと感じています。クラゲさんは大学二年生で参加されたとのことですが、いかがでしたか？

クラゲ…国家公務員のインターンに参加すると、そもそも国家公務員はどういう仕事なのかという本質的な理解が深まります。ニュースなどでは、顔が見えないし、結果だけわかるって感じなので。実際に働く方々がどういう思いで仕事に取り組んでいるのかを肌で感じ、擬似的に体験できることが最大の魅力だと思います。「大きなことを成し遂げたい」「社会の役に立ちたい」という思いがある方にとっては、多くの発見があるはずです。視野が一段階広がると感じました。

トド…確かに、想像以上に視野が広がるというのは私も感じました。知らないことが多く、自分がそれまで抱いていた公務員のイメージが大きいく変わりました。

イモリ…具体的にどのような点が違いましたか？

トド…ありきたりかもしれませんが、いわゆる「お堅いお役所仕事」というイメージとのギャップが最も大きかったです。特に環境省は、ツールの使い方が非常に柔軟で、むしろ柔軟なツールの活用を推奨する風土があり、自分の中のイメージとは大きく異なりました。

クラゲ…私は当初、漠然と民間企業に就職するものだと考えていました。しかし、民間でのビジネスが具体的に自分がどのような価値を生み出すのか、自分の中で明確なイメージが描けていませんでした。興味のあった宇宙分野を軸に経済産業省のインターンに参加したことで、公務員にしかできない仕事が多くあると感じました。民間ではなく公務員として働くという選択肢が自分の中に生まれたことが、非常に良かったと思います。その経験を元にどうアクションを起こすかは人それぞれですが、仕事のイメージを持つこと自体が、人生においてプラスになるはずです。

トド…とても共感します。私も、それが行動を起こすための第一歩になると強く感じました。たとえインタ

ーン先の省庁や公務員という職業を選ばなかったとしても、次のステップに繋がる第一歩になると思います。

民間と国家公務員

トド…その流れで、民間企業とも迷われていたクラゲさんに、公務員を志望された経緯を伺いたいです。

クラゲ…元々、絶対に公務員になりたいという強い希望があったわけではありません。宇宙などの分野を通じて「社会をワクワクする方向へ前に進めたい」という思いがあり、その実現手段として国家公務員総合職という選択肢がありました。もしご縁がなければ、民間で働くという気持ちでした。インパクトの大きい仕事、社会を前進させる仕事という軸で考えたときに、民間と公務員で迷い、よりそのチャンスが大きいと感じた公務員を第一志望としました。

そっだ、

職員訪問しよう。

トド…インターンに参加した際、職員の方に「今度東京で開催されるワークショップでの政策分野に興味があるの、行きたいです!」とお伝えしたところ、「そのために東京での交通費や宿泊費をかけるより、職員訪問を利用してはどうか」と勧めていただきました。結果、同じテーマのお話をオンラインでじっくり伺うことができ、大変ありがたかったです。

イモリ…職員訪問は、本当におすめです!私は三回利用させていたいただきました。職員訪問を実施している省庁は多いですが、環境省は特に手厚いと感じています。年間を通じて予約を受け付けており、メールでの依頼にも迅速に対応いただけました。私は聞きたい業務内容をリクエストし、担当の職員の方から直接のう程度程度お話を伺うことができました。

たぬき…私は、座談会でお会いした職員の方に訪問をお願いしました。ご多忙にもかかわらず日程を調整いただき、業務について深く伺えただけでなく、試験対策の相談にも親身に乘ってください、勉強のモチベーションが上がりました!
イモリ…私はあえて自身の関心が薄かった分野について知りたいと思

い、廃棄物処理に関するお話を伺いました。当日は自治体からの出向者や技術系の職員の方も同席してくださり、一対四という形で、非常に細かい点まで質問することができました。これは原課面接の良い練習にもなりました。
トド…確かに、職員の方と一対一で話せる職員訪問は、原課面接の模擬練習になりますね!

イモリ…今思えば、原課の職員の方と直接話せる機会は非常に貴重ですね。説明会では政策テーマについて聞けますが、質問できるのは一人一つ程度です。そのため、聞きたかった質問が全てはできなかった、という人もいるのではないのでしょうか。職員訪問であれば一時間から一時間半、一対一で話せるため、疑問を解消し、職員の方の雰囲気も知ることができ、官庁訪問対策として強く強くおすすめします!

説明会参加と評価

たぬき…国家公務員の官庁訪問では、「説明会の参加回数も評価対象だ」という噂をよく聞きますが、実際はどうなのでしょう。

イモリ…いいえ、それは関係ないと思います。あくまで政策や省庁を理解するためのマッチング、情報収集の一環です。参加自体が選考で直接プラスになるかは分かりませんが、マイナスになることはないはずです。熱意を伝える良い機会にはなると思います。

気になる
職員訪問の詳細は

こちら

Click

私は「やれることは全てやろう」という気持ちで、時間の許す限り参加していました。

クラゲ…もちろん、説明会への参加が官庁訪問本番でのパフォーマンスに潜在的な影響を与える可能性はありますが、説明会での振る舞いが直接選考結果に影響することはないと、特に環境省に関しては考えています。その点は心配せずに官庁訪問に来てほしいです！

トド…私も、環境省の官庁訪問直前説明会を聞いていて、参加回数は選考に関係ないと思いました！

クラゲ…例えば、官庁訪問に何日目に参加するかという点についても、一日目でも二日目でも内々定の可能性は十分にあると思います。

たぬき…もし説明会への参加回数が少ないことを理由に官庁訪問をためらっている方がいたら、ぜひ訪問すべきですよね！

イモリ…官庁訪問に参加していただくことは本当に重要です。参加しなければ何も始まりませんから。

採用イベント
の情報は
こちら

Click

イチオシの 採用イベント

イモリ…最後に、これから官庁訪問を迎える方におすすめのイベントを挙げさせてください。私は「職員訪問」です。

トド…私は「インターンシップ」です。

クラゲ…私が最も印象に残っているのは、「気候変動分野の国際交渉を担当されている方の説明会」です。

そこで「環境保護と日本の国益が対立した場合、どちらを優先しますか」と質問したところ、「日本の国益です。我々は日本の国民のために働いているのですから、両立できない場合は国益を最優先します」と即答されたのです。理想だけを追う組織ではないと分かりました。国民と国益のためにプライドを持って働く、魅力的な方々がいる組織だと感じました。

たぬき…私は「試験区分別の少人数相談会」です。対面開催の回に参加しましたが、少人数だったため、教材や勉強スケジュールについて非常に詳しく相談に乗っていただき、大変参考になりました。ぜひ皆さんも色々なイベントに参加してみてください！

大阪府 枚方市 穂谷里山 2025年夏





キリン

デンマーク留学中に
リサイクルステーションの
運営ボランティア



シマエナガ

小学生向けの
食品ロス出前事業、
農作業ボランティア



ツシマヤマネコ

衆議院議員事務所
でのインターン



ひつじ

海岸清掃ボランティア、
若者による政策提言
イベントの運営

課 外 活 動

どんな活動
をしてた？

※ツシマヤマネコは
ヤマネコ表記

シマエナガ…それでは早速ですが、皆さんが大学時代にどんな課外活動をしていたか教えてください！まずは**キリン**さんからお願いします。

キリン…はい。僕は大学2年生の秋からデンマークに留学している

て、現地の大学が公認しているリサイクルステーションで運営ボランティアをしていました。市民から寄付された日用品を陳列したり、リサイクルできないものを分別したりする活動です。その他に、サステナビリティに関心のある学生団体で、企業訪問やキャリアフェアの企画・運営もしていました。

シマエナガ…ありがとうございます！デンマークは環境先進国というイメージがありますね。では、**ツシマヤマネコ**さんはいかがですか？

ヤマネコ…私は少し毛色が違って、衆議院議員の事務所でのインターンをしていました。主な業務は、朝の駅立ちの準備やビラ配り、講演会の運営、地元のお祭りのお手伝いなど、本当に様々です。政治の現場を肌で感じる経験でした。

シマエナガ…政治の最前線ですね！後ほど詳しく聞かせてください。では、**ひつじ**さんはどうでしょうか？

ひつじ…私は大きく二つあります。一つは、大学のボランティア

サークルで、茅ヶ崎の海岸に行ってプラスチックごみを回収する活動を3年生まで続けていました。もう一つは、若者が現職の国會議員に政策提言を行うイベントの運営に携わっていました。

シマエナガ…ありがとうございます。私も二つ活動をしていて、一つは小学生を対象に食品ロスについて教えるサークルで、手作りのかるたを使って出前授業をしていました。もう一つは、兵庫県の丹波篠山市で、留学生と一緒に農作業をお手伝いするボランティアです。

活動の深掘り…
きっかけと学び

シマエナガ…皆さん、本当に多様な活動をされていますね。ここからは、それぞれの活動についてももう少し詳しく聞いていきたいと思っています。まず、**キリン**さんのデンマークでの活動についてですが、なぜその活動を始めたと思ったのですか？

キリン…もともと気候変動などの環境問題に漠然とした興味がありました。留学先にデンマークを選んだのも、発電量に占める風力発電の割合が世界一で、再生可能エネルギーが進んでいる国という印象があったからです。現地で活動する中で、環境問題に関心を持つ仲間と出会えたことや、リサイクルが日常に根付いている様子を肌で感じられたことは大きな収穫でした。

ひつじ…その活動ならではの面白さや、ポジティブな経験があれば教えてください。

キリン…同じシフトの仲間と話す中で、環境問題への意識が高い人だけでなく、「友達がいるから」という理由で参加している人もいました。

リサイクルショップの店内▼



でも、どんなきっかけであれ、結果的にリサイクルの輪に加わっている。そういう形で取り組みが広がっていく様子を見られたのは面白かったです。多様な立場の視点を知れたことは、将来、省庁で働く上でも必ず活きると思っています。



リサイクルショップでの活動▲

有権者の方々が集まる地元のお祭り▼



シマエナガ…なるほど。では次に、ツシマヤマネコさんの議員事務所での活動についてお聞きします。

ひつじ…政治の現場は、私たちの生活とは少し遠いイメージがありますが、環境行政に通じるような学びはありましたか？

ヤマネコ…はい。一番感じたのは、国民の理解を得るためには、Tooe to Ooeで泥臭く対話し続けることが不可欠だということです。講演会では、所属政党への厳しい意見が直接飛んでくることもありましたが、議員が一人ひとり

の目を見て、自分の言葉で説明し、頭を下げる姿を見て、信頼関係が生まれるのだと実感しました。

シマエナガ…それは貴重な経験ですね。

ヤマネコ…ええ。例えば、福島の復興や除去土壌の県外最終処分といった環境省が直面する難しい課題も、最後は職員が地元の方々に地道に説明し、理解を得ていく作業が最も重要になるはずですよ。その「現場のリアル」を学べたことは大きかったですね。

シマエナガ… ありがとございませす。ひつじさんは、高校時代から海洋プラスチック問題に関心があったそうですが、なぜボランティアという形で関わろうと思ったのですか？

ひつじ… 高校時代は本を読んだり市役所や環境省に電話したりして情報を集めていたのですが、知識を得るだけで、問題解決に貢献できていない実感はありませんでした。そこで、まずは自分の体を使って行動してみようと思い、大学で海岸清掃メインに活動しているサークルを見つけて入りました。

キリン… その経験は、環境省を目指すきっかけにも繋がりましたか？



▶ プラスチックはストラップに加工！

▲ 海辺で集めたたくさんの「ミ

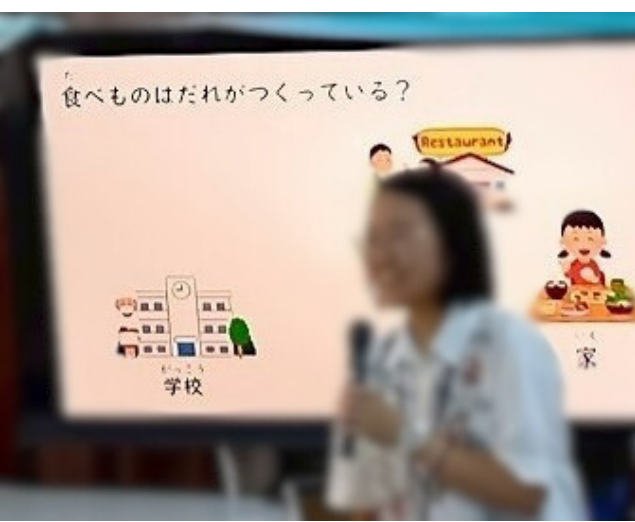
ひつじ… はい。実際にゴミ拾いをしてみても、自分一人の力がいかに小さいかを痛感しました。個人の活動も大切ですが、それだけでは問題は解決しない。社会の根本にある仕組みや制度を作ることの重要性を感じ、それが環境省を志望する大きな動機になりました。また、清掃活動はすぐに成果が見えるわけではありませんがコツコツと粘り強く続ける姿勢は、環境行政にも通じるものがあると感じています。

ヤマネコ… ひつじさんの「コツコツ続ける」という話、すごくよく分かります。私も官庁訪問で色々な省庁を見る中で、環境省はまさにそういう場所だと感じました。

他の省庁には短期的な世論と向き合う仕事も多いですが、環境省の仕事は、必ずしもすぐに成果が目に見えるわけではない。それでも、将来の世代のためにポジティブに取り組み続けられる。そういう、ある種の「我慢」ができる人たちが集まっているのかなと。私はそれを「毛並みが似ている」と感じて、自分に合っていると思い、環境省を選んだ大きな理由の一つになりました。

シマエナガ… お二人の話、すごく共感します！私も食品ロスの活動をしていて、「この活動に意味はあるのかな」と悩むことがありました。でも、お二人の話を聞いて、地道な積み重ねの大切さを改めて感じました。私の活動では、小学生にどう伝えるか、という点で難しさも感じましたね。

▲ 出前授業の様子



ひつじ… 伝える上での難しさ、ですか？

シマエナガ… はい。例えば、給食を残すことについて、アレルギーや体質の子もいるので、「残さず食べよう」というメッセージが過度なプレッシャーにならないよう、言葉選びには常に気を使いました。多くの人に納得してもらうための「伝え方」の重要性と、ボランティア活動の限界を同時に感じた経験は、ルール作りという行政の役割を考える上で大きな学びになりました。

キリン… なるほど…。シマエナガさんはもう一つ、農作業のボランティアもされてましたよね。一見、環境省とは少し距離があるようにも感じますが、その経験から得たもので、将来に活かそうだと感じたことはありますか？

シマエナガ… はい、それは「現場を知ることの重要性」です。実際に農作業を体験し、農家の方々の話を聞く中で、作業の大変さや経営の厳しさを知りました。もしこうした現場感覚がなければ、自分たちが良かれと思って考える政策が、実は的外れだったり、実行不可能なものだったりするかもしれません。この「現場の視点を忘れない」という姿勢は、環境省の職員として働く上でも、常に持ち続けたい大事な軸だと思っています。

キリン..なるほど。ただ、農業の経験となると、農林水産省も視野に入りそうですね。

官庁訪問で「なぜ農水省じゃないの？」と聞かれたりしましたか？

シマエナガ..直接そうは聞かれませんでした。自分の中では官庁訪問の前から答えは明確でした。決め手は「省庁のミッション」です。私なりに、農水省は「日本の食の安全を守ること」、環境省は「人の命や地球環境そのものを守ること」が根幹にあると捉えました。仕事で難しい判断を迫られた時、どちらのミッションを指針にしたいかを考えた結果、私には環境省が合っていると確信したんです。

ひつじ..「ミッション」ですか。僕はあまり意識したことがなかったのですが、新鮮です。



どういう風に捉えたらいいんでしょう？自分の価値観が省庁のミッションと一致している、みたいな感じですかね。

シマエナガ..そうですね。以前、職員の方に相談した際に、「省庁が違っても最終的な国の目標は同じ。ただ役割分担が違うだけ。だからこそ、自分がどの立場で貢献したいか、どのミッションを大切にしたいかを考えるといい」とアドバイスをいただきました。例えば、業務内容だけ見ると、経産省や農水省と重なる分野もありますが、政策案を作る最初の段階では、それぞれの省庁のミッションに基づいた視点が強く反映されるはずです。その拠り所になるのがミッションなのかな、と。これは省庁を選ぶ上での一つの大事な視点になると思うので、皆さんの参考になれば嬉しいです！

将来、環境省を 目指す皆さんへ

シマエナガ..それでは最後に、将来環境省を目指す大学生に向けて、皆さんの経験を踏まえたメッセージをお願いします。

キリン..活動の「内容」や「成果」そのものよりも、「その経験を通して何を考え、どう行動したか」を記録し、自分の中に落とし込んでおくことが大切だと思います。派手な実績がなくても、目の前のことに一生懸命取り組んだ経験には必ず価値がありますし、官庁訪問ではそうした人間性が見られていると感じました。

ヤマネコ..私は、「できるだけ多くの活動を、それぞれ一定期間やってみることをお勧めします。一つの活動に長く関わると、その価値観が全てだと思い込みがちです。しかし、色々な世界を見ることで視野が広がり、本当に自分が納得できる進路を見つけることに繋がります。それぞれの場所で何を感じたかをキリン君が言うように記録し、自己分析を続けていくと良いと思います。

ひつじ..私からは二つです。一つは「諦めないでほしい」ということ。就職活動では、うまくいかずに心が折れそうになる瞬間が必ずあります。でも、結果は最後まで分かりません。自分で可能性を狭めず、ポジティブにやれることをやり続けてほしいです。二つ目は「何事も楽しんで挑戦してほしい」ということ。一見無関係に思える経験が、後々どこかで繋がる可能性があります。学生時代にしかできない様々な挑戦を楽しんでください！

シマエナガ..ありがとうございます。私からは、「人と協力しながら何かを成し遂げる経験」をしておくことと良い、ということ伝えたいです。サークルなどで何かしらの役割に就くと、多様な意見を調整し、全体をまとめる力が養われます。それは省庁で働く上でも不可欠なスキルです。そして、皆さんが言ってくれたように、たとえ苦手なことがあっても、目標に向かってコツコツ努力を続けることが何より大切だと思います。

本日はありがとうございました。今回の座談会が、将来の環境省志望者の皆さんにとって、大学生活を考える上での一助となれば幸いです。

メンバー



キツネ
大阪住み



ナマケモノ
京都住み



カピバラ
神戸住み



メンダコ
長野住み

地方在住者

地方からの 情報収集術

メンダコ…本日はお集まりいただきありがとうございます！早

はありましたか？

ナマケモノ…僕は農林水産省も併願していたのですが、そちらで「官庁

についてお聞きしたいです。東訪問前説明会」というのがあって、京に比べて情報

が手に入りやすくそこで聞いた話とネットの情報を照らし合わせて「まあ、似たような感

報をどのように集めていました」じだらう」と大枠を掴んでいま

か？

カピバラ…僕は国家公務員試験の予備校に通っていたので、そこ、どういう点を見られているか、ここにある「合格体験記」を一番と

いったもつと深い部分ですよね。情報源にしていた。官庁

そういう情報、僕もあまり見つけ問のクールごとの流れや面接

が書かれていて、**メンダコ**…確かに、環境省の説明会

連のプロセスを把握できたので、おすすめの勉強法や先輩の過

精神的な安心感がありました。ごし方といった情報はもらえま

ね。逆に言うと、それ以外の情が、選考プロセスの詳細までは触れ

報源はほとんどありませんでした。られていませんでしたね。

メンダコ…予備校の体験記は心強い

ですね。私はそういったものがなかつたので、ひたすらインターネット

で情報を探していました。でも、ネットの情報は信憑性がわからず、む

しろ不安を煽られることも多くて…。キツネさんも同じような経験

をされたんじゃないですか？

キツネ…はい、私も**メンダコ**さんと全く同じです。確認のない情報をネ

ットで漁っては、一人で不安になっ

ていました（笑）。今思えば、同じ

サイトを見て一喜一憂していたのか

もしれませんね。

メンダコ…きつとそうですね（笑）

ナマケモノ…さんは何か有益な情報源

はありましたか？

た。でも、皆さんが本当に知りたい

の、具体的な面接の質問内容と

はありますか？

カピバラ…はい、一度だけ神戸から行きました。あとは夏休みにあ

った「サマートライアル」にも参加しましたね。ただ、行ってみて感じたのは、一度行けば十分だということ。一度しっかり顔を合わせておけば、意外と覚えてもらえることが多いので、何度も足を運ぶ必要はないかな、と。

カピバラ…やはり、そういった深い情報は合格体験記に書かれていることが多かったですね。ネットではあまり見かけなかった印象です。

メンダコ…そうすると、大学内で公務員講座を取っている友人などから情報共有してもらえる「コミュニティ」があれば、最大限に活用するのが良さそうですね。

オンライン

説明会の利活用

ナマケモノ…地方の学生は、対面の説明会に参加しにくいというハンデもありますよね。職員の方に直接顔を覚えてもらう機会が少な

い。官庁訪問が始まってから、職員さんが以前説明会で会った学生

さんに親しげに話しかけているのを見て、「あ、これか！」と実感

しました。

メンダコ…まさに。この中で、霞が関での対面説明会に参加した方

はいますか？

カピバラ…はい、一度だけ神戸から行きました。あとは夏休みにあ

った「サマートライアル」にも参加しましたね。ただ、行ってみて

感じたのは、一度行けば十分だということ。一度しっかり顔を

合わせておけば、意外と覚えてもらえることが多いので、何度も足を運ぶ必要はないかな、と。

メンダコ… 一度の対面が大事、と。もしそれが難しい場合はどうすればいいでしょうか？

カピバラ… オンラインで開催される「少人数相談会」を予約して、そこで顔を覚えてもらうのが良いと思います。対面に行くか、オンラインの少人数イベントに参加するか、どちらかのアクションは起こしておく方が良いのではないのでしょうか。

ナマケモノ… ああ、それだ！僕も官庁訪問の時に「いたよね？」って言われたんですけど、オンラインの二対一の説明会で覚えてもらっていたみたいです。変なこと言ってたから、違う意味でインパクトがあったのかもしれないですけど（笑）。

メンダコ…（笑）。でも、覚えてもらえるのは大きいですよ。私も少人数相談会には参加しました。自分の聞きたいことだけをピンポイントで聞けるので、対面に行けない人には本当におすすめてです。

あとは、環境省が主催・協賛しているイベントに顔を出して、「志望しているんです」と伝えて、採用チームの方と繋がりを作ったりもしました。

カピバラ… その行動力はすごいですね！

メンダコ… 絶対に環境省に行きたいという強い気持ちがあるなら、そういったアクションも有効だと

思います。キツネさんはどうでしたか？

キツネ… 私はそういったイベントには全く参加してなくて、採用担当の方とも官庁訪問が「初めまして」でした。ただ、5年生の夏に原子力規制庁のインターンシップに参加していて、そこで偶然、後々の環境省の来年度の採用担当の方とお会いしていました。

メンダコ… なるほど。直接でなく

ても、どこかで繋がりが生まれることもあるんですね。たとえ事前に直接的な繋がりがなくても、説明会に参加して職員の方々の顔を見ておくだけで、当日の安心感が全く違いますよね。「あ、オンラインで見たことある人だ」って思えるだけで、少しリラックスできる。そういう意味でも、説明会への参加は大事だと思います。ちなみに皆さんは、オンライン説明会に何回くらい参加しまし

たか？

カピバラ… 僕は、参加できるものはほぼ全部参加しました。20回くらいかな？オンラインなので気軽に参加していましたね。

メンダコ… 私も仲間です！専門外分野でも、何か知識になるかもしれないと思って、国際関係の回なども含めてほとんど参加していました。ナマケモノ… 僕は逆に、1回を含めても2回くらいですね。

キツネ… 私も、一次試験合格者向けの説明会に2回参加しただけです。

カピバラ… こうして見ると、説明会の参加回数自体が直接内々定に関係するわけではなさそうですね。

メンダコ… そうですね。ただ、知識を得ておく、あるいは当日のリラックス材料にするという意味で、少なくとも数回は参加しておく、心に余裕が生まれるかもしれません。

▲兵庫県 日本へそ公園 2025年 春



官庁訪問の拠点

「宿選び」と

休日の過ごし方

メンダコ… 次は、地方学生にとって死活問題となる「宿選び」について聞きたいです。カピバラさんは宿にお金をかけたと言っていました。宿選びで重視したポイントはありますか？

カピバラ… 僕は入浴場があるホテルを選びました。毎晩そこでリラックスできたのは本当に良かったです。あと、僕はホテルのヘビュユーザーなので（笑） 霞ヶ関へのアクセスが良い国会

議事堂近くのホテルを予約しました。キツネ… 私は最寄り駅からの距離を最優先しました。泊まった宿が、駅から雨に濡れずに行ける場所、傘が要らなかったのがすごく助かりましたね。移動のストレスは小さいようで、かなり大きいです。

ナマケモノ… 確かに。ちなみに、宿の予約はいつ頃から始めましたか？僕みたいに計画性のない人間からすると、気になるところです。

カピバラ… 調べ始めたのは3ヶ月前くらいで、実際に予約したのは2ヶ月前くらいでした。

キツネ… 私は一次試験の結果が出た1月末にすぐ予約しました。早割を狙って。ただ、クールが進む前に帰ることになったらどうしよう、という不安はありました。

メンダコ…官庁訪問の時期は他の省庁の志望者も予約するので、霞が関周辺の良い宿はすぐに埋まってしまいますよね。キャンセル料がかからないホテルも多いので、一次試験が終わったらすぐに動くのが大事だったりするかもしれません。

ナマケモノ…具体的な場所と言うと、霞ヶ関駅に乗り入れている丸ノ内線、日比谷線、千代田線の沿線で探すと、乗り換えなしで一本で行けるので楽だと思います。

カピバラ…特に丸ノ内線は駅の地下で繋がっているの、雨の日も濡れずに済む。これは大きなメリットですね。

メンダコ…宿の話が出たので、次は官庁訪問中の「休日の過ごし方」について。心身ともに疲弊する期間だと思いますが、皆さんはどうやってリフレッシュしていましたか？

カピバラ…僕は「せっかくだから楽しもう」と思って、野球観戦に行ったり、少し遠出して宇都宮や日光に観光に行ったりしていました。もちろん、ある程度選考が進んでからの話ですが。

キツネ…私は「美味しいものを食べる」と決めていました！パンケーキやオムライスを食べに行ったり、モチベーションを維持していましたね。ただ、第一・第二ラウンドの間はメンタルにきつすぎて、

▼長野県 木曽駒ヶ岳



外に出る気になれない日もありました。

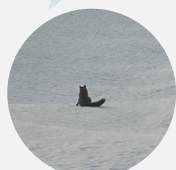
ナマケモノ…僕は大学院生なので、学部時代に東京で就職した友人が多くて。彼らに連絡を取って会いに行っていました。気心の知れた仲間と話すのは、すごく良いメンタルケアになります。

メンダコ…私も友人たちに会って、カフェで話を聞いてもらったり、映画を観に行ったりしてリラックスしていました。でも、やっぱり最初のクールが終わった直後は、面接のフィードバックを元に話す内容を整理し直す作業に多くの時間を費やしましたね。うまく気分転換しながら、次への準備を進めることが大切だと思います。

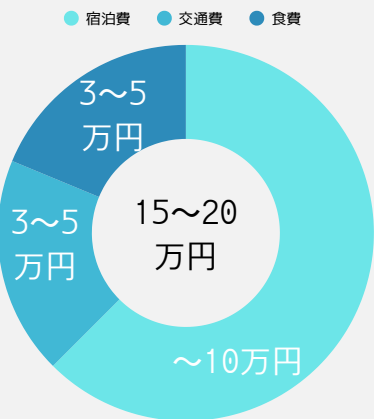
官庁訪問にかかった金額は？

ホテル泊

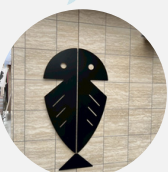
霞が関に近めのホテルに泊まっていたので、官庁訪問期間中の移動は、あまり時間がかかりませんでした！



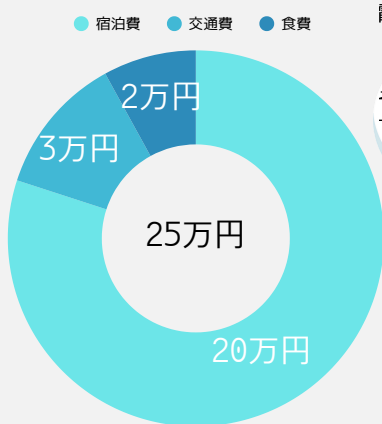
キツネ



霞が関にすごく近いホテルに泊まったので値段がはりました…その分、訪問期間はとても気楽に過ごせました！



カピバラ



実家に宿泊

僕は関東の実家に泊まって通いました。実家から霞が関まで2時間くらいかかったので大変でしたが、交通費は抑えられました。お金を時間でペイしたかんじです笑



メンダコ



僕も東京の実家に泊まりました。京都からの夜行バスを5000円の三列シートタイプにしたらすごく快適でした。オススメです！



ナマケモノ



地方出身者の

強みと

リアルな悩み

メンダコ…次に、地方ならではの苦労や、逆にメリットだと感じたことについて話していきたいと思います。情報収集以外で苦労したことはありませんか？

キツネ…私は理系ということもあり、周りに国家総合職を志望する人が本当にいないで、「なんで？」

「大学院に進学しないの？」と不思議がられることが多かったです。なぜ公務員を目指すのかを、周りにひたすら説明する日々でしたね。孤独感がありました。

メンダコ…すぐく分かります！私も理系なので、飲み会で教授陣に囲まれて「なぜ院進しないんだ！」と説得された経験があります（笑）。特に地方だと、地元根付いた就職を選ぶ人が多い分、国家公務員を目指す仲間を見つけるのは難しいですね。

カピバラ…確かに、僕の周りにも国総志望は実質ゼロでしたね。

ナマケモノ…僕も環境省志望はゼロでした。他の省庁を目指す人は何人かいました。

メンダコ…そういう環境で国総を目指した皆さんは本当にすごいと思います。

ます。では逆に、地方出身だったからこそ「これがメリットだった」と感じることはありませんか？

カピバラ…志望動機に具体性と説得力を持たせやすかった点です。

私は滋賀県出身なので、滋賀県での環境学習の経験を話すことで、なぜ環境問題に関心を持つようになったのかを、自分ならではのストーリーとして語ることができました。これは、都市部出身の人にはない強みだと思います。

メンダコ…私も長野での経験、例えば人と人との繋がりの中で見えてきた地域の課題感を、自分なりの言葉で具体的に話すことができたというのにはメリットが近いです。

キツネ…あと、私にとっては官庁訪問の期間そのものが「非日常」だったので、その緊張感で最後まで走り切れたという側面はあります。もし実家から通っていたら、家に帰った瞬間に緊張の糸が切れてしまっていたかもしれません。

ナマケモノ…僕もその「非日常感」は楽しめましたね。霞が関がどんな所かも知らずに来て、「うわ、全部ビルだ！」って感動したり（笑）新鮮な気持ちで臨めたのは良かった点です。あとは、関西弁を話すだけで覚えてもらいやす

いというのはありましたね。無理に標準語に合わせる必要はないと思います。

メンダコ…確かに！方言は強力なアイデンティティになりますよね。

ナマケモノ…もう一つ、これは環境省ならではのかもしれませんが、国立公園や福島復興など、地方での勤務や出向の機会が多くありますよね。もともと地方出身だと、全国どこへでも行くことへの抵抗が少ない。これも強みになるのではないのでしょうか。

メンダコ…それは大きなメリットですね！地方出身者の強み、見つけました！



▼長野県 松本城

なぜ、地元を離れて霞が関へ？

「私たちのキャリア観」

メンダコ…地方出身者ならではのメリット・デメリットが見えてきました。が、そもそも皆さんは、

なぜ地元やゆかりのある土地を離れて、東京が主な勤務地となる国家公務員を目指そうと思ったのでしょうか？キャリアを考える上で、大きな決断だったと思います。

ナマケモノ…僕は正直に言うところ、「民間企業は向いていないな」と感じたのが大きいですね。もちろん民間の方が稼げるというのは分かっているんですが、お金を稼ぐことよりも、大きな視点で社会に貢献するような「やりがい」の方に自分の軸がありました。お金が第一だったら、きっと公務員は選んでいない。この価値観は、多くの国総志望者と共通しているかもしれない。働く場所については、あまりこだわりがなかったですね。

メンダコ…「やりたいこと」が勤務地よりも優先された、ということですね。私も同じで、自分のやりたいことを突き詰めていったら、その場所がたまたま国家公務員というフィールドだった、という感覚です。

キツネ…私は生まれてからずっと大阪で、外に出たことがなかったのですが、ものすごく迷いました。実家も大阪ですし、長女なので、地元を離れることへの不安やためらいがなかったわけではありません。大阪の近畿局のような選択肢も考えました。でも、最終的には「総合職として大きな仕事ができる」という気持ちで勝ちましたね。自分のやりたいことを実現できる場所はどこか、と考えた結果でした。

カピバラ…僕も関西への愛着は強かったんで、地元に残りたい気持ちがありました。でも、キャリアを考えた時に、勤務地はそこまで優先順位が高くなかったんです。「やりたいうことができるか」を一番に考えて就職活動を進めていった結果、国家公務員という道にたどり着きました。これから東京で暮らしていけるかという不安は少し残っていますが（笑）、自分の選択に納得しています。

▼兵庫県 六甲山鉢巻展望台 2023年 夏



後輩たちへ伝えたい教訓

メンダコ…皆さん、地元への愛着や葛藤を抱えながらも、最終的には「やりたい仕事の内容」を優先して、霞が関という舞台を選んだのですね。地元を離れるからこそ、その土地に間接的に貢献したいという気持ちも、仕事のモチベーションになるかもしれません。

メンダコ…それでは最後に、これから環境省を目指す地方の後輩たちへ、教訓として伝えたいことを一人ずつお願いします。

▼長野県 上高地



カピバラ…官庁訪問が始まるまでにできる最も重要なことは、「顔を覚えてもらうこと」に尽きると思います。対面やオンラインの説明会、イベントなどに積極的に参加して、自分という存在を知ってもらう努力をすることが、後々大きなアドバンテージになると感じました。

キツネ…私は、「素の自分である」とが一番大切だと思います。私は説明会にほとんど参加せず、知識ゼロの状態で官庁訪問に臨みましたが、「それは何ですか?」と素直に質問することで、職員の方も丁寧に教えてくれました。取り繕うのではなく、ありのままの自分でぶつかっていくのが良いと思います。あとは、何か一つ「技」を持っておくといいかもありません。私の場合、普段は標準語で話しておいて、「関西出身です」と言われた瞬間に「コテコテの関西弁を出す」「後出し関西弁」で、場を盛り上げていました（笑）。

ナマケモノ…私からは二つです。一つは、「睡眠をしっかりとること」当たり前ですが、体調管理が全ての基本です。もう一つは、「官庁訪問はマッチングである」という意識を持つこと。省庁が自分を選んでいるだけでなく、自分も省庁を選んでいんだという気持ちで、「本当にここがいいのか?」と常に自問自答することが大切です。特に

地方の学生は、オンラインの情報だけで判断しがちですが、実際に霞が関に来て感じる雰囲気やフィードバックを大

▼兵庫県 五色塚古墳 2024年 冬



事にしてほしいです。

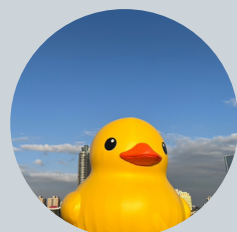
メンダコ…ありがとうございます。私からは、「オンライン説明会で勇気を出して顔を出す」ことを勧めたいです。みんながカメラをオフにしていると、自分もオフにしがちですが、そこで一人だけ顔を出せば、きっと覚えてもらえます。私はそれができずに後悔したので、ぜひ挑戦してほしいです。そして、説明会で得た知識は、官庁訪問でのディープな議論に繋がる貴重な財産になります。地方というハンデを恐れず、使えるツールは全て使って、自信を持って臨んでください。

本日は、貴重なお話をありがとうございました。今回の座談会が、地方から環境省を目指す皆さんの不安を少しでも解消し、一歩踏み出すきっかけとなれば幸いです。

志望動機

の作り方

「人の命と環境を守る」というコア・ミッションと、「ウェルビーイング」を政策の最上位目標に据えていることに非常に共感しました。また、環境省は「福島復興に最後まで取り組み続ける省庁」だという職員さんの言葉に感銘を受けたこともあり、環境省を志望しました。



マッコウクジラ

意識したことは？

職員の方に添削してもらった中で、ちょっと指摘を受けたところとかをすぐに変えてました。

添削やブラッシュアップは？

うーん、週5時間ぐらい働いてたのもあって、じっくり書く時間がなかったんです。もうほぼ一発勝負みたいな感じでした。職員の方に見ていただいたときの一回です。

参考にしたものは？

去年も官庁訪問したんで、去年自分が書いたものがある程度参考にしました。大きな違いはないんですけど、去年よりもっと、非市場的な価値を守るみたいなところに重点を置きました。僕の場合は、書くことを変えたというよりは、喋り方をしたかなと思います。内容はあんまり変わってないかもしれないです。

私は子供が幸せに暮らせ、希望を持てる社会を作りたいっていうので、三省庁の全部。これを軸を志望動機を書いて。それに加えて環境省に行って具体的にやりたい理由とか、具体的にどういうことをやりたいかっていうのを書いてました。子供が幸せに暮らせるような希望を持てる社会を作りたいっていう理由と、環境省に行きたい理由。両方に原体験と紐付けるように書きました。



アンテロープ

意識したことは？

自分のストーリーがわかりやすいことと、あとは自分がその物理と公共政策を学んでいるから、今までの経験がどういふ風に活かせるかっていうところを盛り込むことを意識しました。

添削やブラッシュアップは？

とくにしてもらってないです。

参考にしたものは？

説明会やパンフレットの資料です。あとは勉強会の先輩が残してくれた資料があったので、それを参考にしました。

私の志望動機は、多様な関係者を巻き込みながら、仕組みづくりやルールメイキングといった形で誰かがやらなければいけない環境課題に真正面から取り組み、未来世代に美しい日本の環境を継承していきたいということです。国家公務員を志望した動機は、公益性の高い仕事があったからです。海外をいろいろ見て回った経験や、自分のバックグラウンドも踏まえて、自分の国である日本が好きで、日本のために働きたいと思うようになりました。また、国際社会の平和と安定に尽力したいというのがありました。



パンダ

意識したことは？

①仕組みづくりやルールメイキングで環境課題に取り組みたい、未来世代に美しい日本の環境を継承していきたい、②自分の国である日本のために、公益性の高い仕事がしたい、③国際社会の平和と安定に尽力したいという三つの軸にも合致することを意識しながら書くようにはしていました。

添削やブラッシュアップは？

納得できるまで練って、一発で書きました。でも、実際に官庁訪問中に職員さんとお話ししていく中で、話す志望動機は少しずつ軌道修正されてたかなって思います。

参考にしたものは？

環境省のパンフレットや、説明会で聞いたお話が中心でした。



インドネシア
Chitalahab周辺
2024年夏

私は、誰もが安全安心に暮らし、未来へ希望を持てる社会をキーワードに、農林水産省、環境省、文部科学省の三省庁を回って。その中で、安全安心というところを守るためには生活の基盤となる自然資本を守っていったら、それを将来世代にしっかり引きついでいくことが大事です。よねってという話を自分の経験と結びつけて話してました。

あとは今は環境の話を考えるときは、環境の話だけでは考えられなくて、社会の問題だったり、経済の問題っていうところも一緒に考えていかなければいけないっていう中で、環境省のやってる活動が今すごく、ここに合致している！って感じたので、環境省を志望しました。あと安全安心というところ、それに携わる省庁は多いと思うんですけど、自分がやりたいのは、国交省のインフラとかのお話だったり、文科省の教育だったりもある意味インフラ的なところがあると思いました。そのなかで、自分自身が守りたいと思ったのは、自然環境や人の命で、さらにプラスして社会的なインフラもやってみたいと思って。そこに自分の旅行経験だったり、自分のなんでそう思うのかっていう具体的な経験だったりと結びつけて話してました。なので、その誰もが安全に暮らす未来への希望を持っている社会というところ、本当に環境問題を環境問題以外のところからも考えているところに理念に共感しています、というお話をしています。



しばいぬ

意識したことは？

自分しかない体験を書きたいなって思ってた。

例えば他省庁では原体験って言葉をよく言われて。それってなんか、自分にしかない強みだから、他の人には絶対ないところだと思って。例えば「安全安心に暮らす」みたいなキーワードは多分いろんな人が出すと思うので。それを説明するための自分にはできないことっていうところをすごく意識して自分には出せない言葉だったり、自分にしかできない、やってない経験っていうところを書くっていうのは結構意識していました。

添削やブラッシュアップは？

私、環境省の添削は友達にお願いしてました。環境省を受ける技術系の友達がいだったので、その技術系の人とお互いに見合ってた。あとは、この安全安心な暮らしっていうところは、農水省の職員の方に志望動機を見ていただいたときに出てきたキーワードを、環境省バージョンに自分の中で落とし込んでいたっていう感じでした。

参考にしたものは？

とくには、ありませんでした。

内定者の志望動機

国民が環境問題を自分ごととして捉える社会を作りたい。高校生の時、環境問題に関心を抱き、大学では海岸清掃や企業・行政へのヒアリングを通じて、人々の環境意識には明確な個人差があり、課題に対する温度感にばらつきがあることや「脱プラスチック」は困難であることを実感した。環境問題は企業活動による外部不経済の影響が大きいが、一方で国民個人の意識が変容することで企業活動に影響を与えることが重要である。したがって、私は企業と消費者の双方を巻き込んで仕事をしたい。具体的には地方自治体と協同し、生物多様性や自然環境保全のための環境保護活動の推進や脱炭素ドミノを国民の生活へと繋げること。海洋プラスチックゴミ問題に関して、国際交渉を通じ世界と日本の結節点を構築し国民に地球規模の社会課題における認知の拡大や専門家共にマイクロプラスチックの人体への影響を解明したい。

幼少期に不法投棄の現場を目にしたことがきっかけで、国民一人一人が環境問題に主体的に取り組みたくなる社会を実現したいと考え、貴省を志望しました。その経験から、社会においてルールは作ることも重要である一方で、ルールが適切に運用される仕組みづくりが重要だと痛感し、将来は法律の制定や運用に携わる仕事をしたいと考えました。また、規制を行う一方で、国民や企業に対し、環境に配慮するような行動を働きかけるような制度設計ができることにも魅力を感じています。大学のゼミで、気候変動対策は節電などに個人規模で取り組むだけではなく、地域や国といった大きな枠組みでの目標設定と実行が不可欠だと学びました。私は、射撃部マネージャーとして培った傾聴力と調整力を活かして、環境問題と経済活動を両立させるようなルールづくりに携わり、国民全員が環境問題を自分ごととして考えられるように、職務に励みたいと考えます。

大学での研究や課外活動を通じて、公害が過去の問題ではないと感じるとともに、環境や景観といった非市場的価値を守っていくことの重要性を感じた。

このことから、「人の命と環境を守る」という環境省の使命に共感し、人々が安心して生きられる環境を後世に残していきたいと考えた。また、第六次環境基本計画において「ウェルビーイング」を環境政策の最上位目標に掲げていることを知り、環境省ならば新たな成長の軸を作ることができると考えた。以上の理由から、私は本年度も環境省を志望する。

環境省に入省した場合、福島復興や公害対策、地球温暖化対策等の政策に携わること、人々が安心して生きられる環境を維持していくと共に、国民一人一人のウェルビーイングを実現するために、都市緑化やエコツーリズム等、自然環境の持つ価値を引き出す政策に携わっていききたいと考えている。

日本の豊かな自然環境を守り、将来世代へこの環境を繋いでいく社会の実現を目指し、環境省を志望する。里山保全のボランティア活動で出会った子供達の姿に少年時代の自分を重ねるうち、人々の心や思い出を彩る環境の価値を、強く感じるようになった。このかけがえのない環境が、地球温暖化や環境汚染によって過去のものとならないよう、未来へ継承していきたいと考えている。そして、広大な自然環境を将来世代に引き継ぐためには、意欲のある人々だけではなく、保護に関心がない人々も含めた、より多くの人々、一人ひとりの行動の積み重ねが不可欠だと、里山保全活動等を通して痛感した。貴省にて、私は、環境に優しい行動が容易に実行でき正当に評価される社会の基盤を、旗振り役として、また、伴走者として、築き上げていきたい。それにより、環境に良い行為が経済的な機会創出や社会課題解決にも繋がるという見通しが立ち、結果として、環境保護に関心がない人々を含む多様な人々の自発的な行動を後押しすることができると考えている。

持続可能な社会の実現に向けて、環境と経済の両立を制度的に支える政策に携わりたいと考え、環境省を志望します。特に、炭素に価格をつけて排出削減を促すカーボンプライシングや、生態系サービスに経済的価値を認め、受益者負担を実現するPES（生態系サービスへの支払い）といった制度に関心があります。これらはいずれも、環境の外部性に着目し、その是正を通じて人間活動と自然環境の調和を目指す重要な仕組みです。私は、なぜ環境保全が進まないのか、どうすればこの状況を突破できるのかという問いに関心を持ち、大学では環境経済学を学びました。外部性の理論や制度設計の在り方を学ぶ中で、政策による適切な介入の必要性を実感しました。また、貴省の説明会では、「他省庁と調整」を行いつつ、自治体レベルでの環境政策の実現を牽引していることを知り、自らの関心を実務に活かせると感じました。入省後は、自治体や関係者と協働し、地域の特性を活かした〇〇や△△の制度設計・普及、並びに省庁の壁を越えた政策実現に携わりたいと考えています。

※Chat GPTで添削済。

メンバー



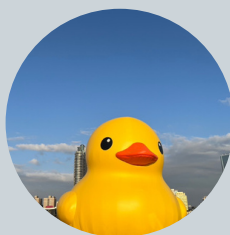
しばいぬ



アンテロープ



パンダ



マッコウクジラ

秘官庁訪問

官庁訪問への期待と準備

※マッコウクジラはクジラ表記

パンダ…今回は、これから官庁訪問に臨む後輩の皆さんのために、私たちの経験をざっくりばらんにお話できればと思います。早速ですが、皆さんは官庁訪問にどんな「期待」を持って臨みましたか？あるいは、どんな話が聞きたかったですか？
しばいぬ…私は他の省庁の説明会にかなり参加していたので、官庁訪問で聞くことがなくなってしまうのでは、という懸念がありました。一方で、環境省についてはまったく知らない状態だったので、一つ一つの話が新鮮で、自分の知的好奇心が満たされていくのを感じました。職員の方のお話から連想ゲームのように次々と疑問が湧いてきて、

それをぶつけることで理解が深まっていくプロセスが、とても有意義でしたね。

アンテロープ…私もしばいぬさんと似ています。他の省庁については説明会や大学の授業である程度の知識がありましたが、環境省については未知の部分が多く、純粋な好奇心を持って臨めました。様々な分野の第一線で活躍されているプロフェッショナルな方々に、これまで抱いていた疑問を直接ぶつけられることを楽しみにしていました。

クジラ…私は前年度も官庁訪問を経験していたので、「去年は聞けなかった話を聞きたい」という思いがありました。また、官庁訪問は職員の方だけでなく、同じ志を持つ他の学生と交流できる貴重な機会でもあります。普段なかなか話す機会のない、多様なバックグラウンドを持つ学生たちとの待ち時間の会話は、大きな刺激になりました。

パンダ…私は官庁訪問三日目に環境省を訪れたので、それまで他の省庁とで気持ちが揺れている部分がありました。ですの

で、職員の方ご自身が、学生時代にどんな省庁を併願していた、最終的に「何が決め手で環境省を選んだのか」という、キャリア選択のリアルな話を聞いた

てみたいと思っていました。業務内容だけでなく、そうした個人の価値観や選択の背景に触れることが、自分の迷いを晴らす上でとても参考になりましたね。

しばいぬ…ありがとうございます。では、その官庁訪問に向けて、皆さんはどんなものを「参考に」しましたか？
私は、正直に言うとうと、事前に何かを深く読み込んだということはありませんでした。パンフレットを読んで大枠を掴み、あとは訪問中に気になったことを、白書やホームページで深掘りしていくスタイルでした。知識を詰め込むより、現場で吸収することを重視していましたね。

パンダ…私は昨年度の「内定者の声」をかなり読み込みました。官庁訪問のプロセスや、内定者の皆さんが「何が決め手になったか」を自己分析されている部分が特に参考になりましたね。「自分のこういう部分をアピールしてみよう」という戦略を立てる上で、とても役立ちました。
アンテロープ…私も内定者の声やパンフレットに加え、大学の学部の先輩から直接お話を聞いたのが大きかったです。また、説明会のアーカイブ動画もいくつか視聴しました。リアルタイムで参加できなくても、後から情報を得られるのはありがたかったですね。

パンダ…説明会への参加度合いは人それぞれだったようですが、参加していなくても不利になることはない、という印象ですかね。

しばいぬ…そう思います。もちろん参加していれば、より深い議論ができたかもしれませんが、官庁訪問中に学び、質問していけば大丈夫だと感じました。

パンダ…採用担当の方が開催してくださった「採用担当が語る官庁訪問のホント・ウソ」という企画も印象的でした。そこで「白書を隅々まで読み込む必要はない」というお話を聞いて、少し肩の力が抜けました（笑）。そういった職員の方の生の声を聞ける場合は貴重だと思います。

官庁訪問中の心に残った職員の言葉

言葉

パンダ…官庁訪問は、職員の方々と直接対話できるのが最大の魅力だと思っています。特に印象に残っているお話はありますか？

クジラ…〆推進機構の「さんとお話した際、具体的な政策の話以上に「国家公務員として働くとはどういうことか」という、仕事の根幹に関わるお話が心に残っています。その中で、「最初のうちは、何が正しくて何が間違っている

自分の中で判断がつかないことが一番難しい」という言葉が印象的でした。また、私が「公益性のために、自分が納得し続けられる仕事をしたい」とお伝えしたところ、多くの職員が同じ思いで働いていると聞き、モチベーションが上がりました。

しばいぬ…私は、福島復興や資源循環に携わっているZさんのお話が忘れられません。特に、中間貯蔵土壌の処理を巡る裁判で、被害者の方々の声を間近で聞いた経験について語ってくださったのが印象的でした。「個人としては心が痛む。でも、公的な立場としてすぐに全てを約束することはできない」という葛藤のお話から、この仕事の重みと誠実さを感じました。人の命と環境、両方を守る仕事の原点を垣間見た気がします。

パンダ…私もZさんのお話は感動しました。同じくらい印象的だったのが、ある職員の方が「自分の正義を貫ける場所が、私にとって環境省だった」とおっしゃっていたことです。自分の正義とは何か、深く考えさせられました。また、秘書課長がご自身のキャリアを振り返り、水俣病に長く関わってこられたお話も衝撃的でした。問題が今なお続いていること、そして、それだけ一つの課題に人生を懸けて向き合うキャリアがあるのだと知りました。

アンテロープ…私も秘書課長のお話が心に残っています。私は大学で物理学を専攻していたので、「科学的知見」を仕事に活かしたいという思いがありました。課長が「水俣病も、もっと早く科学的知見をもって対応できていれば」とお話しされているのを聞き、環境行政における科学の重要性を再認識しました。同時に、最終的には人と人との関わりが大切だという熱い思いも伺い、「環境省なら、本気で人の命を守るために働ける」と確信しました。

私が環境省を選んだ理由

（変化と決め手）

しばいぬ…皆さんは、他の省庁や民間企業なども併願していましたか？その中で、最終的に環境省を選んだ「決め手」は何でしたか？私は農林水産省や文部科学省の訪問にも参加し、都庁からも合格をいただいていた。最後まで悩みましたが、決め手は「仕事のスケールや分野の魅力」と「職員の方々の熱意」です。公害や福島復興といった、国でしか取り組めない大きな課題に魅力を感じましたし、お会いした職員の方々が皆、強い思いを持って働か

クジラ…私は国家公務員一本で、もしご縁がなければ大学院に進もうと考えていました。官庁訪問中に他の省庁も訪問し、そちらの仕事にも魅力を感じましたが、最終的には「最初にやりたかったことは何か」という原点に立ち返り、初志を貫きました。採用担当の方にずっと相談に乗っていただいたので、最後に握手ができた時は本当に嬉しかったです。

アンテロープ…私は外務省や内閣府も訪問しました。もともと「子どもたちの未来を守りたい」という思いから、戦争や災害を防ぐ仕事に関心がありましたが、それら全ての根底には「環境」がある、と官庁訪問を通じて気づきました。自分の興味関心の中心は、やはり環境分野なのだと再認識できたことが決め手です。

パンダ…私も**アンテロープ**さんと似た併願先でした。私の軸は「国際益にいかん貢献できるか」という点でした。他省庁のお話も大変魅力的でしたが、国益が主軸にあると感じました。もちろんそれも非常に重要ですが、環境問題のように、地球全体の利益に直結し、国際協力を前提とする分野で働きたいという自分の思いと、環境省のフィールドが最も合致していると感じ、心が決まりました。

気になるウワサの真相は？

クジラ…官庁訪問には色々なウツサがありますよね。例えば、「面接の評価」に関する話は皆さんも耳にしたことがあると思います。が、あまり気にしすぎない方が良く感じました。

パンダ…環境省に関しては、全く関係ないと感じました。年次に関わらず、私たちの興味や関心に合わせて、その分野に詳しい職員の方をアサインしてくれている、という印象です。

しばいぬ…私もそう思います。年次で判断するようなことはなく、訪問者に余計な心配をさせない雰囲気がありました。待合室の空気もとても和やかで、職員の方々がフランクに話しかけてくださるので、リラックスして臨めました。精神的に最も安心して過ごせた官庁訪問だったと思います。

パンダ…待合室で職員さん同士が自然体で話しているのを見て、普段からこういう雰囲気なんだろうな」と感じられたのも、志望度が上がる一因でした。

未来の訪問者へ (メッセージと アドバイス)

パンダ…それでは最後に、これから官庁訪問に臨む後輩の皆さんへ、メッセージと実用的なアドバイスをお願いします。まずは持ち物からどうでしょう？

クジラ…連日たくさん話すので、のど飴やトローチは必須です。また、職員の方から名刺をいただく機会が多いので、名刺入れがあるとスマートです。

しばいぬ…官庁訪問中に体調を崩してしまったので、常備薬があると安心です。

アンテロープ…待ち時間に調べ物ができるように、PCやタブレットがあると便利です。そして何より、自分の心を支えてくれる「心の拠り所」のようなものを持っていくと、メンタルを強く保てると思います。

パンダ…では、最後に後輩たちへのメッセージをお願いします。

クジラ…官庁訪問は情報戦の側面もあり、心が揺さぶられる瞬間もあると思います。でも、多くの情報は「生存者バイアス」がかかっていることを忘れずに。最終的には、自分を強く持って、自分の信じる道を進んでほしいです。

しばいぬ…官庁訪問は、他人と比較してしまいがちです。でも、大切なのは「自分は何者で、何をやりたいのか」を見つめ、それを伝えること。もしご縁がなくても、それはあなた自身が否定されたわけではありません。その省庁が今求めている人材と、たまたまマッチしなかっただけ。そう捉えてほしいです。

アンテロープ…官庁訪問は、努力が必ずしも結果に比例しない、厳しい側面もあります。でも、やるだけの準備をやり切ったという事実、必ずあなたの自信になります。実際に行ってみると、緊張の中にも新しい発見や人との出会いといった楽しさもたくさんあります。最後まで諦めず、全力で、そして楽しむ気持ち忘れずに挑んでください。

パンダ…採用担当の方がおっしゃっていた「官庁訪問はマッチング」という言葉が、私の支えでした。皆さんは、官庁訪問に来る切符を持っている時点で、本当に優秀な方々です。どんな結果になっても、自分を責めすぎないでください。

そして、省庁が求める人物像に自分を無理に合わせるのではなく、ありのままの自分でいられる場所を探してほしいです。その方が、入ってもききそれに加えて、訪問中にどれだけ多くのことを吸収できるかという「吸収力」や、そこで得た情報と自身の長所を結びつけて説明できる「柔軟性」も、すごく大切だと感じ

ました。

事前に作り上げた固定観念にとらわれず、その場で学び、自分らしさを発揮していく。そういった姿勢を意識すると、きっと道が開けると思います。きっと幸せに働けるはずですよ。

それに加えて、訪問中にどれだけ多くのことを吸収できるかという「吸収力」や、そこで得た情報と自身の長所を結びつけて説明できる「柔軟性」も、すごく大切だと感じました。事前に作り上げた固定観念にとらわれず、その場で学び、自分らしさを発揮していく。そういった姿勢を意識すると、きっと道が開けると思います。

今日は貴重なお話を、ありがとうございました。この座談会が、皆さんの不安を少しでも和らげ、自分らしく官庁訪問に臨むための一助となれば幸いです。応援しています！

東京 千代田区 令和七年十月某日



おわりに



EPILOGUE

国家公務員を目指している方、
目指していない方、
環境省を志望している方、
考えたことのなかった方。
この冊子を手にとって
くださったすべての方が
素敵な未来を迎える
一助となれば
うれしいです。

2025年度内定者



環境省ホームページ

[HTTPS://WWW.ENV.GO.JP](https://www.env.go.jp)

環境省YOUTUBE

[HTTPS://M.YOUTUBE.COM/USER/KANKYOSHO](https://m.youtube.com/user/kankyosho)

環境省X（旧TWITTER）

[HTTPS://TWITTER.COM/KANKYO_JPN/](https://twitter.com/kankyo_jpn)

環境省学生向けX（旧TWITTER）

[HTTPS://TWITTER.COM/MOE_RECRUIT](https://twitter.com/moe_recruit)

環境省学生向けInstagram

[HTTPS://WWW.INSTAGRAM.COM/MOE_RECRUIT/](https://www.instagram.com/moe_recruit/)

環境省SNS一覧

[HTTPS://WWW.ENV.GO.JP/GUIDE/SNS/INDEX.HTML](https://www.env.go.jp/guide/sns/index.html)



!注意!

本誌の記載事項は、内定者の私見に基づくものであり、
環境省の意向を反映させたものではありません。
使用しました写真やイラストは、
内定者が撮影した写真や各種フリー素材を使用しています。

デザイン・画像編集▶Canva(<https://www.canva.com/>)
日本地図作成▶日本地図ジェネレーター
(https://www.start-point.net/maps/map_maker/#google_vignette)
を使用しました。

表紙:ニュージーランド Arthur's Pass
2023年2月(日本の冬、ニュージーランドの夏)
裏表紙:熊本県 大観峰展望所
2024年夏



MINISTRY OF ENVIRONMENT



0 24563 84926 54 2

総合職事務系環境省内定者の声2025